

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アイワ ケイコ 相川 圭子	女	1945 	甲州市	甲州市	「山梨日日新聞」	哲学・宗教	ヨガ・瞑想指導者。	『ヒマラヤ聖者の知恵があふれる瞑想法』(2010主婦の友社) 『宇宙に結ぶ「愛」と「叡智」』(2012講談社) 『ヒマラヤ聖者の太陽になる言葉』(2015河出書房新社) 『ヒマラヤ聖者の超シンプルなさとり方』(2016徳間書店) 『ヒマラヤ大聖者のマインドフルネス』(2017幻冬舎)ほか	『心が浄化される瞑想の言葉』(マガジンハウス2016)山梨日日新聞2016.8.2125面	2020/10/18	塩山
アイザワ ケイウ 相澤 啓三	男	1929 2021	山梨県	山梨県	『山梨県人物・人材情報リスト2021』	文学	詩人・評論家。 「朝日ジャーナル」副編集長、美術図書編集長、「アサヒカメラ」編集長などを経て朝日新聞を退職 『マンゴー幻想』で第35回高見順賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』)	『北方』(昭森社、1962) 『声の森・氷の肋』(昭森社、1963) 『オペラの快楽』(洋泉社、1995) 『マンゴー幻想』(書肆山田、2004)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p293)	2022/9/30	甲府
アイダ ユウスケ 会田 雄亮	男	1931 2015	東京都	東京都	『現代日本人名録2002』	芸術・スポーツ	陶芸家・忍野村に忍野窯を築窯 (『陶芸事典』日本美術出版、1991)・東北芸術工科大学名誉教授(2002,HP)愛知県立芸術大学客員教授(2006、HP)ファエンツァ国際陶芸コンペ金賞日本インテリアデザイン協会賞(『現代日本人名録2002』)	『会田雄亮』(講談社、1987)	『現代日本人名録2002-1』(日外アソシエーツ、2002、p16)「陶Vol.1」(京都書院、1992)『會田雄亮展変貌する陶土:コレクション練込の仲間達』(山形美術館、2004) http://www.yusukeaida.co.jp/career/careerframe.htm (2022.7.31現在)	2022/7/31	おしの
アイハラ チサト 相原 千里	男	1940 	楡形町	南アルプス市	『山梨太宰治の記憶』	文学	山梨文芸協会・山梨県郷土数学研究会・やまなし金子文子研究会・山梨近代史の会 (『山梨太宰治の記憶』)	『いのちをつぐ故郷』(山梨ふるさと文庫、2003) 『夜叉神峠を越えて第1部』(山梨ふるさと文庫、2004) 『誰がための祖国』(芙蓉書房、2007) 『山梨太宰治の記憶』(山梨ふるさと文庫、2011) 『もう一つの豊村』(千明書房、2015) 『言葉で伝える故郷』(銀河書籍、2019)ほか	「山梨日日新聞」(2007.9.18、17面、2011.9.26、7面、2016.2.26、25面、2017.1.14、19面、2017.12.1、25面、2018.11.3、5面、顔写真あり、2020.2.7、20面、顔写真あり)	2020/10/28	楡形

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アオキ ヒシ 青木 人志	男	1961 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『グラフィック法学入門』	社会科学	一橋大学大学院法学研究科教授。 一橋大学法学部(1984年)卒。一橋大学大学院法学研究科助教授などを を経て、2002年教授。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』)	『グラフィック法学入門』(新世社、2012)	『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p186)	2014/11/25	富士吉田
アオヤキ ミスホ 青柳 瑞穂	男	1899 1971	市川大門町	市川三郷町	『山梨百科事典』	文学	フランス文学者。 骨董収集家。 (『山梨百科事典』)	『ささやかな日本発掘』(新潮社、1960) 『壺のある風景』(日経経済新社、1970) 『古い物、遠い夢』(新潮社、1976) 『青柳瑞穂骨董のある風景』(みすず書房、2004)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p8) 『青柳瑞穂骨董のある風景』(みすず書房、2004) 『青柳瑞穂の生涯』(新潮社、2000) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p200~202)	2020/10/9	市川三郷
アカオ ヨシオ 赤尾 好夫	男	1907 1985	石和町	笛吹市	『山梨百科事典』	産業	旺文社創業者、テレビ朝日名誉会長、文化放送会長 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 日本における受験出版の先駆(『山梨百科事典』)	『若い人のために』(洋々社、1955) 『忘れられぬ名言』(旺文社、1978) 『若人におけることば』(旺文社、1967)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p9) 『石和町誌2』(石和町、1991、p345~349) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p89~90) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p1~10)	2022/10/13	石和
アキヤマ キヨシ 秋山 樹好	男	1899 1981	大草村	韮崎市	『山梨百科事典』	自然科学・医学	1950~1979年、山梨生物同好会長。 1969年、文化功労者。 (『山梨百科事典』)	『山梨県巨樹名木誌』(秋山樹好、1974) 『山梨県におけるツツジ・シャクナゲ類の分布』(秋山樹好、1977) 『植物観察図集』(秋山樹好、1977)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p12)	2018/11/27	韮崎
アキヤマ コウイチ 秋山 幸一	男	1924 2006	韮崎市	韮崎市	『甲州百人の顔』『山梨県人物・人材情報リスト2019』	社会科学	元山梨県議会議員、元韮崎市市長(1994年)、紺綬褒章受章、勲四等旭日小綬章(『日外アソシエーツ』、『甲州百人の顔』)		『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983、p12-13)、『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p49)	2022/11/30	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アキヤマ サワコ 秋山 佐和子	女	1947 	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト2004』	文学	歌人。「玉ゆら」代表。 第1回日本歌人クラブ評論賞受賞。 歌人三ヶ島霞子の研究で知られる。 十月会、現代歌人協会理事、日本文芸家協会会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』)	『空に響る樹々』(砂子屋書房、1986) 『羊皮紙の花』(砂子屋書房、2000) 『歌ひつくさばゆるされむかも』(TBSブリタニカ、2002) 『秋山佐和子歌集』(砂子屋書房、2004) 『樋口一葉』(山梨日日新聞社、2005) 『彩雲』(砂子屋書房、2005) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p5) 『現代短歌大事典』(三省堂、2000、p10～11)	2009/1/21	山梨
アキヤマ ミズヒト 秋山 瑞人	男	1971 	山梨県	山梨県	『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』 『コレクション戦争と文学5』	文学	小説家・SF作家。 大学在籍中、金原瑞人の小説創作ゼミに在籍。「瑞人」のペンネームは教授の名前にちなむ。 (『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』) 1998年『E. G. コンバット』でデビュー。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) 2003年『おれはミサイル』で星雲賞日本短編部門受賞。 (『コレクション戦争と文学5』)	『イリヤの空・UFOの夏①～④』(メディアワークス、2001～2003) 『E.G.コンバット』(メディアワークス、1998) 『おれはミサイル』(『コレクション戦争と文学5』集英社、2011、p221～)	『山梨県人物・人材リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p314) 『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』(金原瑞人、牧野出版、2005、p195) (『コレクション戦争と文学5』集英社、2011、p674～)	2016/8/2	甲府
アサカワ ケイタ 浅川 継太	男	1979 	山梨市	山梨市	「山梨日日新聞」	文学	作家 2010年『朝が止まる』で第53回群像新人文芸賞受賞。 (山梨日日新聞) 2014年『ある日の結婚』で第36回野間文芸新人賞候補。 (「山梨日日新聞」)	『ある日の結婚』(講談社、2014) 『いまのあなたへ村上春樹への12のオマージュ』(NHK出版、2014年) 『ベスト・エッセイ2014』(光村図書出版、2014) ほか	「山梨日日新聞」(2010.4.16、面、顔写真あり、2014.5.22、面、顔写真あり)	2014/12/12	山梨
アサカワ タクミ 浅川 巧	男	1891 1931	甲村	北杜市	『山梨百科事典』	産業 芸術・スポーツ	林業技手。 朝鮮カラマツの養苗法「露天埋蔵法」の開発。 (『郷土史にかがやく人々』) 朝鮮陶磁、木工具の研究家。 (『山梨百科事典』)	『朝鮮の膳』(八潮書店、1978、県立図書館所蔵) 『浅川巧全集』(草風館、1996) 『浅川巧日記と書簡』(草風館、2003) 『朝鮮民芸論集』(岩波書店、2003) 『朝鮮陶磁名考復刻版』(草風館、2004)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p18) 『郷土史にかがやく人々』第19集(青少年育成山梨県民会議、1993、p33～90) 『芸術新潮』(新潮社、1997年5月号、p3) 『ランデブー』(山本育夫事務所編、コミヤマ工業、2000年4月号、p32) 『朝鮮の土となった日本人』(高崎宗司著、草風社、1998) 『白磁の人』(江宮隆之著、河出書房新社、1994) 『韓国民芸の旅』(高崎宗司編著、草風館、2005、p18) 『浅川伯教の眼+浅川巧の心』(伊藤郁太郎監修、里文出版、2011) 『評伝浅川伯教と巧十四冊の日記帳』(澤谷滋子原作、山梨県北杜市、2021)	2022/10/7	たかね

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アサカワ タモツ 浅川 保	男	1945 	福島県 矢吹町	福島県 矢吹町	『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 『偉大な言論人石橋湛山』	社会科学	甲府在住、石橋湛山の研究者。 山梨平和ミュージアム-石橋湛山記念館理事長。 山梨近代史の会幹事。 歴史教育者協議会全国委員。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) 山梨郷土研究会、山梨文芸協会会員ほか。 (『偉大な言論人石橋湛山』) ほか	『若き日の石橋湛山ー歴史と人間と教育と』(近代文芸社、1993) 『知っておきたいあの戦争』(山梨ふるさと文庫、1995) 『偉大な言論人石橋湛山』(山梨日日新聞社、2008) 『「平和の港」10年のあゆみ』(山梨平和ミュージアム、2017) 『地域に根ざし、平和の風を2』(山梨平和ミュージアムー石橋湛山記念館ー2021) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p184) 『偉大な言論人石橋湛山』(山梨日日新聞社、2008、奥付) 『21世紀ー山梨の100人』(山梨新報社、2002、p120~121)	2022/9/30	甲府
アサカワ ノブ 浅川 伯教	男	1884 1964	甲村	北杜市	『山梨百科事典』	芸術・スポーツ	彫刻家・陶磁評論家。 山梨高等師範卒業後、1913年に朝鮮公立小学校訓導として渡韓。 朝鮮陶磁器の発掘に尽くす。 (『山梨百科事典』) 民芸運動の創始者、柳宗悦と弟、巧と共に1924年朝鮮民族美術館を開館させる。 (『浅川伯教と巧』)	『釜山窯と対州窯』(彩壺会、1930、県立図書館所蔵) 『陶器全集17李朝』(平凡社、1971、県立図書館所蔵) 『世界陶磁全集13.14.16』(河出書房、1955~1958、国会図書館所蔵) 『李朝の陶磁』(座右宝刊行会、1956、国会図書館所蔵)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p18) 『郷土史にかがやく人々17集』(青少年のための山梨県民会議、1993、p55~80) 『芸術新潮』(新潮社、1997年5月号、p3) 「ランデブー」(山本郁夫事務所編、コミヤマ工業、2000年4月号、p32) 『韓国民芸の旅』(高崎宗司編著、草風社、2005、p11) 『浅川伯教と巧』(浅川伯教・巧兄弟を偲ぶ会、2002) 『浅川伯教・巧兄弟の心と眼ー朝鮮時代の美』(大阪市立東洋陶磁美術館ほか編、美術館連絡協議会、2011) 『評伝浅川伯教と巧十四冊の日記帳』(澤谷滋子原作、山梨県北杜市、2021)	2022/10/7	たかね
アサカワ ミツヒコ 浅川 満彦	男	1959 	韮崎市	韮崎市	『野生動物の法獣医学』	自然科学・医学	日本野生動物医学会認定専門医、酪農学園大学野生動物医学センター施設長、市民団体「野生動物の死と向き合うF・VETSの会」代表。 日本生物地理学会賞(1991年)(『野生動物の法獣医学』)	『野生動物医学への挑戦』(東京大学出版会2021) 『野生動物の法獣医学』(地人書館2021)	『野生動物の法獣医学』(地人書館、2021)	2022/11/30	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アサカワ ヨシトミ 浅川 嘉富	男	1941 	小淵沢町	北杜市	『神々の楽園ハケ岳』	哲学・宗教 歴史・地理	1965年東京理科大学を卒業後、日本火災海上保険株式会社に入社。1999年専務取締役在任中、退任。地球・先史文明研究者/写真家「超古代文明」「UFO」「霊的世界」の研究を生涯のライフワークとして取り組む傍ら、世界各地の遺跡や南極・北極などの秘境を訪ね、貴重な写真を撮影し続けている。(『最後の楽園PERU』)	『霊性の目覚め』(近代文芸社、1994) 『謎多き惑星地球上下』(徳間書店、2002) 『恐竜と共に滅びた文明』(徳間書店、2004) 『人間死んだらどうなるの』(中央アート出版社、2005) 『最後の楽園PERU』(あおば出版、2006) 『神々の楽園ハケ岳』(ヒカルランド、2012)	『神々の楽園ハケ岳』(表紙裏、顔写真あり) 浅川嘉富のホームページ http://www.y-asakawa.com/ (2012.08.10確認)	2018/11/12	小淵沢
アサヒナ チョウヨウ 朝夷 晁陽	男	不詳	南部町	南部町	『南部地区における明治の群像』 『南部町誌』	歴史・地理	生家は醤油醸造業。独学で漢学を学ぶ。1875年、地券下調総代に任命され、南巨摩郡下の調査記録「巡回滞留日課録」「巡回滞留日誌録」を残す。近藤喜則の殖産社にも参加し、大蔵省印刷局との交渉日記も残されている。1883年、県会議員に当選。(『南部町誌』)		『改定南部町誌上巻』(南部町、1999、p963) 『南部町誌』(南部町、1964、p611)	2012/8/14	南部
アサワ シゲアキ 芦沢 誉明	男	1939 	白根町	南アルプス市	『細孔の先』	文学	果樹農家 (『細孔の先』)	『細孔の先』(芦沢誉明、2015)	『細孔の先』(芦沢誉明、幻冬舎、2015、p124)	2016/11/1	白根
アサワ シゲキ 芦沢 茂喜	男	不詳	不詳	不詳	『ソーシャルワーカーになりたい』	社会科学	ソーシャルワーカー(精神保健福祉士、社会福祉士)、第一号職場適応援助者。山梨県内の民間精神科病院などでの勤務を経て、山梨県庁に入庁(『ソーシャルワーカーになりたい』)	『ひきこもりでいいみたい』(生活書院、2018)『ソーシャルワーカーになりたい』(生活書院、2020)	山梨日日新聞2020年9月12日15面	2020/10/25	韮崎
アサワ シンジ 芦澤 新二	男	1924 1989	西野村	南アルプス市	『天愛不息』 『山梨日日新聞』	社会科学	三和テッキ社長。 東京国際貿易会社会長、日本青年会議所副会長、東京青年会議所理事、鉄道電化協会理事ほか。 古典籍の収集家として知られ、特に『伊勢物語』については『鉄心斎文庫・伊勢物語古注釈叢刊』(八木書店、1988～)を刊行した。 (『天愛不息』)	『芦沢新二対談集』(三和新聞社、1984) 『未開の国文明の国』(三和新聞社、1964)	『天愛不息』(故芦澤新二追悼集編集委員会、三和テッキ株式会社、1990、p288～294) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p89) 『山梨日日新聞』(1989.1.2219面)	2020/10/28	白根

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アツミ フホウ 渥美 芙峰	男	1893 1973	河口村	富士河口湖町	『富士北麓と文人たち』	芸術・スポーツ	日本南画院岸浪百草居に師事、日本画の革新的絵画の進歩発展に尽くす。 (『富士北麓と文人たち』)	『文は人なり』(文は人なり発行所1946～) 『俳誌と画』(文は人なり会) 『爐』(爐発行所) 『俳句の生れる原理と鑑賞の諸問題』(文は人なり発行所、1948) 『雨読帖』(芙峰画譜刊行会、1960) 『俳句維新』(勝田印刷株式会社出版部、1943)	『富士北麓と文人たち』(内藤成雄著、ぎょうせい、1986、p133) 『河口湖町文化のあゆみ』(河口湖町教育委員会、1978、p111)	2012/8/16	富士河口湖
アトベ カオル 跡部 薫	男	1925 2009	武川村	北杜市	『句集枯木星』 『句集一里塚』	文学	武川村役場総務課長を長く勤め、1984年退職 武川村文化協会俳句部会所属 (『句集枯木星』)	『句集枯木星』(旭ファースト、2001) 『句集一里塚』(旭ファースト、2005)	『句集枯木星』(序、p151)	2012/7/30	むかわ
アナミス トモジロウ 穴水 朝次郎	男	1836 1899	田之岡村	南アルプス市	『八田村誌』	社会科学	治山・治水、農業・商工業の振興発展に尽力 釜無川堤防の整備に県土木課長として尽力 前釜無川の氾濫を防ぐのに尽力 (『八田村誌』) 稲作試験場や製糸場を設立 (『山梨百科事典』)	『山梨県史資料編14』「穴水朝次郎発書簡」(山梨県、山梨日日新聞社、1996、p344～345)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p21) 『郷土に尽した人々』(清水小太郎、1976、p29) 『八田村誌』(八田村、1972、p266、p344) 『八田村誌』(八田村、2003、p175～178顔写真あり、p369～370) 『山梨県議会史第2巻』(山梨県議会、1972、p1382) 『中巨摩郡誌』(山梨県中巨摩郡聯合教育会、東京名著出版、1977、人物・褒章誌p51) 『広報南アルプス』(南アルプス市、2011.6、12面、顔写真あり)	2012/8/17	八田
アナミス ヨウシチ 穴水 要七	男	1875 1929	旭村	韮崎市	『韮崎市誌』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』	社会科学 産業	幼名は哲。 1887年、甘利学校を卒業。 母方の伯父穴水嘉三郎が営む穴水商店の丁稚となって住みこんだ。嘉三郎により要七と改名。 25歳の時、伯父の娘とみ子の婿養子となる。 (『韮崎市誌』) 1908年、小野金六を頼り富士製紙に転じ、1915年取締役、1918年専務となった。同年政友会の推薦で甲府から衆院議員に当選、当選4回。また北海道電燈、小武川電力各社長、その他諸会社の重役を務めた。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)		『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会編、韮崎市、1979、p424) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p31) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p1)	2018/11/27	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アヤマ ショウドウ 穴山 勝堂	男	1890 1971	錦村	笛吹市	『山梨百科事典』 『松と富士穴山勝堂伝』	芸術・ス ポーツ	画家。本名、義平。 1931年第12回帝展で「夕映えの松」 が特選、皇室お買い上げとなる(宮 内庁三の丸尚蔵館蔵)。1933年第 14回帝展で「磯松風」が特選。 1937年山梨美術協会創立会員。 1968年山梨県文化功労者として表 彰。1970年叙勲、勲五等瑞宝章。 (『松と富士穴山勝堂伝』)		『松と富士穴山勝堂伝』(朝日新聞 出版、2019) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図 書、1992、p175-176) 『山梨百科事典』増補改訂版(山梨 日日新聞社、1989、p32)	2020/9/27	御坂
アマノ ケン 天野 建	男	1928 2005	大月市	大月市	『山梨県人物・人材情報リスト 2021』	社会科学	1979年から石和町長を3期務める 1991年から山梨県知事に3選 「元祖草の根知事」と呼ばれる 父は天野久(山梨県知事) (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』)	『山は青く水は清く』(ぎょうせい、 1996) 『自らのために計らわず』(三省堂、 1990) 『明日の山梨』(山梨ふるさと文庫、 2000) 『天無私』(山梨ふるさと文庫、 2004)	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p50～ 51) 『明日の山梨の発展のために』(内 外情勢調査会、2002) 『幸住県やまなし』(内外情勢調査 会、1993) 『山梨新時代の「創世」に向けて』 (内外情勢調査会、2001) 『天野建と「草の根」の奇跡』(岩崎 正吾著、山梨ふるさと文庫、1991) ほか	2022/11/5	石和
アマノ シゲル 天野 重知	男	1910 2004	忍野村	忍野村	『北富士入会の闘い』 『北富士演習場と天野重知の 夢』 『山梨日日新聞』	歴史・地 理 社会科学	忍草入会組合長 忍野村村長 北富士闘争指導者 (『北富士入会の闘い』)	『富士における望月氏の四つの大 罪』(忍草入会組合、1992)『分取育 林契約県の松丸尾奪取戦略北富士 県有地再払下げは幻影』(忍草入会 組合、1993)	『北富士入会の闘い』(忍草母の会 事務局、御茶の水書房、2003) 『北富士演習場と天野重知の夢』 (斑目俊一郎、彩流社、2005)『山梨 日日新聞』(2004.1.6、22面)『結成7 5周年記念伝承・団結』(忍草入会 組合、2022)	2022/7/31	おしの
アマノ セン 天野 宣	男	1934 2014	都留市	都留市	『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 『天野宣音楽事務所』	芸術・ス ポーツ	和太鼓・篠笛奏者。 甲府無形文化財指定保持。 第1回甲府市市民栄誉賞受賞。 1999年、県文化功労者賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』)	CDアルバム「ゆらぎ」(天野宣&阿羅 漢、2005) 「ルネッサンス」(天野宣&阿羅漢、 2002) 「zipangu」(天野宣&阿羅漢、2002) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p467～ 468) 『風の伝承大地の鼓動天野宣生誕 80周年記念』(日本ステンレス工業 株式会社、2014) 『天野宣音楽事務所』 http://amanosen.info/ (2022.7.31確 認)	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アマノ ヒサシ 天野 久	男	1890 1968	七里村	甲州市	『山梨百科事典』 『天野久の生涯』	社会科学	政治家・実業家 1919年山梨酒造(株)創立 1940年笹一酒造店設立 1946年衆院選当選、連続3期 1951年山梨県知事当選 笹子御坂自動車トンネル、富士山 有料道路などを建設 従3位勲2等旭日重光賞 (『山梨百科事典』) 天野建氏の父 (『天野久の生涯』)		『天野久の生涯』(天野久翁顕彰 会、1973) 『甲州人物風土記』(高橋賀寿雄、 1973、p8~14) 『平成・昭和に活躍する山梨県人』 (かいじしんぶん、1998) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p36) 『91山梨県知事選天野建と「草の 根」の奇跡』(星雲社、1991、p43)	2012/8/21	塩山
アマノ ユイナ 天野 ゆいな	女	1994 	大月市	大月市	『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 『山梨日日新聞』	文学	本名、天野結生。 中学3年の平成21年『さながら駆け し破軍の如く』で講談社X文庫ホワ イトハート新人賞を受賞してデ ビュー。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) 趣味は読書、書道、音楽鑑賞。 (『さながら駆けし破軍の如く』)	『さながら駆けし破軍の如く』(講談 社、2009) 『月は腕に歴史を抱き』(講談社、 2010)	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p297) 『さながら駆けし破軍の如く』(講談 社、2009、奥付) 『山梨日日新聞』(2010.2.15、1面、 顔写真あり)	2022/9/30	甲府
アマノ ヨシテル 天野 義輝	男	1914 1993	忍野村	忍野村	『山梨日日新聞』 『広報忍野』 『忍野村史増補版第1巻』	社会科学	教育者、忍野村村長 忍野村名誉村民第3号 勲五等双光旭日章 (『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、 2021)		『広報忍野』145号(忍野村、 1993.3、p4)『山梨日日新聞』 (1993.1.30、17面)『忍野村史増補 版第1巻』忍野村、2021、p1130)	2022/7/31	おしの
アマノ ヨシヒコ 網野 善彦	男	1928 2004	御坂町	笛吹市	『追悼記録網野善彦』	歴史・地 理	歴史家。 日本中世史、日本海民史専攻。 神奈川大学教授。日本常民文化研 究所所員。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2023』) 山梨県文化財保護審議委員、山梨 県史編さん委員会委員、山梨県立 博物館顧問などを務めた。 (『甲斐の歴史をよみ直す』)	『異形の王権』(平凡社、1986) 『甲斐の歴史をよみ直す』(山梨日 日新聞社、2008) 『日本の歴史をよみなおす』(筑摩 書房、2017) 『網野善彦列島の歴史を語る』(本 の森、2005) 『網野善彦著作集』(岩波書店、 2007~2009) 『網野善彦対談集』(岩波書店、 2015) ほか	『ザやまなし』(山梨日日新聞社、 1998年8月号、p2~3) 『山梨日日新聞』(2004.3.5、16面、 顔写真あり、2004.3.27、7面、 2007.6.20、11面、顔写真あり、 2015.4.17、15面) 『僕の叔父さん網野善彦』(集英社、 2004) 『網野善彦を継ぐ。』(講談社、2004) 『追悼記録網野善彦』(洋泉社、 2006) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』 (日外アソシエーツ、2022、p193~ 195) ほか	2023/2/23	県立

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アミヤ ケイジロウ 雨宮 敬次郎	男	1846 1911	牛奥村	甲州市	『山梨百科事典』	産業	起業家・社会実業家 1888年甲武鉄道取締役就任 1903年日本防腐木材会社設立 (『天下の雨敬』) 日本鑄鉄会社社長 東京商品取引所理事長 (『山梨百科事典』)	『過去六十年事蹟』(武蔵野社、1977)	『天下の雨敬』(情報山梨企画、1991) 『軽便王国雨宮』(丹沢新社、1972) 『郷土史にかがやく人々集合編』(青少年のための山梨県民会議、1974)『天下の雨敬、明治を拓く』(河出書房新社、2012)『鉄道王雨宮敬次郎と根性一代』(東洋出版、2010)	2012/8/21	塩山
アミヤ タスケ 雨宮 竹輔	男	1860 1942	牛奥村	甲州市	『山梨百科事典』	産業	デラブドウ普及の先駆者 ブドウ栽培とブドウ酒醸造の技術を研究 1930年奥野田村長就任 (『山梨百科事典』)		『デラ葡萄の父雨宮竹輔翁』(雨宮竹輔翁顕徳碑建立委員会、1956) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p41) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』(青少年のための山梨県民会議、1974、p339) ほか	2012/8/21	塩山
アミヤ ナオコ 雨宮 尚子	女	1971 	一宮町	笛吹市	『旅館すずめや』 『とりのずかん』	芸術・スポーツ	絵本作家・イラストレーター。 2002年ボローニャ国際絵本原画展入選	絵本『旅館すずめや』(白泉社、2009.4) 『旅館すずめやてくてく遠足日和』(白泉社、2009.10) 絵本『えんぎがいい』(白泉社、2015.12) 絵本『とりのずかん』(白泉社、2020.9) 絵本『むしのずかん』(白泉社、2022.4)	『旅館すずめや』 『とりのずかん』 『むしのずかん』	2022/8/19	一宮
アミヤ ヒコヘエ 雨宮 彦兵衛	男	1839 1895	下岩崎村	甲州市	『山梨百科事典』	産業	(雨宮一陽)岩崎村名主。明治5年から祝村戸長となる。 明治9年頃、政府の勧告により、大日本葡萄酒株式会社を創設。土屋龍憲、高野正誠をフランスに派遣する。二人の帰国後、日本ではじめて葡萄酒の製造を開始する。 (『古書が伝えた甲州葡萄酒の歴史』)	『甲州葡萄酒手引草』(雨宮彦兵衛、1885)	『ぶどう酒物語』(山梨日日新聞社、1978、p58～) 『古書が伝えた甲州葡萄酒の歴史』(勝沼図書館、2007) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p41)	2012/8/21	勝沼
アミヤ ヨウコ 雨宮 洋子	女	1942 	塩山市	甲州市	山梨日日新聞 『カミーラと呼ばれた230日』	社会科学	ベネズエラで誘拐され、生還した日本人女性 (『カミーラと呼ばれた230日』)	『カミーラと呼ばれた230日』(東京図書出版2015)	朝日新聞2016.03.0229面 山梨日日新聞2015.02.1827面	2016/11/30	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アミヤ ヨウコ 雨宮 洋子	女	1945 	甲府市	甲府市	「山梨日日新聞」	芸術・スポーツ	箏曲家 「桐音会」主宰 ロシア文学者亀山郁夫と従兄弟 「花の色は」などを作曲 （「菅垣」） 甲府市民文化奨励賞受賞 （山梨日日新聞1999.12.9） 県文化奨励賞受賞 （山梨日日新聞2010.11.14）	CD「菅垣一雨宮洋子独奏箏の世界」 （fontec、2005） CD「夏雨宮洋子作品集」 （大日本家庭音楽会、2010）	CD『「菅垣」創作のあゆみ』 （fonetec、2005） 「山梨日日新聞」 （1999.12.9.5面、顔写真あり） 「山梨日日新聞」 （2005.5.4、9面、顔写真あり） 「山梨日日新聞」 （2010.9.15、11面、顔写真あり）	2022/9/30	甲府
アミヤ リュウコウ 雨宮 柳香	男	1933 	甲府市	甲府市	『条痕』	文学	山梨県芸術祭川柳部門優秀賞受賞 10回 第3回甲信交流川柳大会第1位 第4回エクラン大賞エッセー最優秀賞受賞 （『条痕』）	『条痕』 （雨宮柳香、2004）	『条痕』 （雨宮柳香、2004、奥付）	2014/11/27	竜王
アミヤ ノリス 飴屋 法水	男	1961 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』	芸術・スポーツ	山梨県生まれ、神奈川県育ち。 唐十郎主宰の状況劇場を経て、東京グランギニョル、M.M.M.を結成し、機械と肉体の融合を図る特異な演劇活動を展開。 90年代は活動領域を美術へと移行するも、1995年、ヴェネツィア・ビエンナーレ参加後に作家活動を停止。 同年に「動物堂」を開店し、動物の飼育、販売を始める。 2007年、演劇活動を再開。 2014年、いわき総合高校の生徒たちと校庭で上演した「ブルーシート」で第58回岸田國土戯曲賞を受賞。 （『山梨県人物・人材情報リスト2021』） （『彼の娘』） （『ブルーシート』）	『キミは動物（ケダモノ）と暮らせるか？』 （筑摩書房、1997） 『ブルーシート』 （白水社、2014） 『彼の娘』 （文藝春秋、2017）	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 （日外アソシエーツ、2020、p297～298、511） 『彼の娘』 （文藝春秋、2017、奥付） 「飴屋法水：twitter」 https://twitter.com/norimizua	2022/9/30	甲府
アヤノウジ キミマロ 綾小路 きみまる	男	1950 	鹿児島県	鹿児島県	『きみまる流』	芸術・スポーツ	拓殖大学商学部卒業。 司会業、漫談師。 富士河口湖町特別町民 （『きみまる流』）	『きみまる流』 （PHP研究所、2003）、 『有効期限の過ぎた亭主・賞味期限の切れた女房』 （PHP研究所、2002） 『失敗は顔だけで十分です』 （PHP研究所、2006） 『こんな夫婦に誰がした』 （PHP研究所、2006） 『こんな女房に誰がした』 （PHP研究所、2005） 『きみまる！』 （ベストセラーズ、2004）	「朝日新聞」 （2004.5.9）、 「産経新聞」 （2004.5.9）、 「毎日新聞」 （2004.5.9）、	2012/8/16	富士河口湖

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アユカワ セイゾウ 鮎川 省三	男	1892 1992	大河内村	身延町	『広報みのぶ』 『山梨県剣道史』	芸術・スポーツ	1923年、大和尋常小学校校長を務めて以来、各小中学校校長を歴任。 1949年退職後は旧大河内村などの教育長ほか公職を歴任。 長年にわたり山梨県剣道連盟の役員を務め、のち名誉会長。鮎川杯による奨励など、後進の育成に努める。 1979年、全日本剣道連盟より範士の称号を授与された。 1939年から5度の叙勲を受け、1969年には勲五等瑞宝章受章。旧身延町名誉町民。 (『広報みのぶ』)	『身延町誌』 (身延町役場・1970、p1046～第十六編「町民の記録」共著) 『山梨県剣道史』(山梨県剣道連盟、1977、p145、248)	『山梨の剣道』(山梨県剣道連盟、2004、p191) 「山梨日日新聞」 (1992.2.7ズームアップ、14面) 「広報みのぶ」 身延町名誉町民に鮎川省三氏(身延町役場No.321、1992年3月号、2面写真あり)	2022/11/30	身延
アライシミ サダオ 有泉 貞夫	男	1932 2022	市川大門町	市川三郷町	『山梨の近代』 『山梨近代史論集』	歴史・地理 社会科学	京都大学大学院博士課程満期退学後、国立国会図書館司書に採用され、憲政資料室などに勤務。 東京商船大学教授、東大・京大非常勤講師などを歴任。 1989年より、山梨県史編さん専門委員となる。 (『山梨の近代』、『山梨近代史論集』)	『やまなし明治の墓標』(山梨郷土研究会、1979) 『星亨』(朝日新聞社、1983) 『山梨の近代』(山梨ふるさと文庫、2001) 『山梨の百年』(山川出版社、2003) 『山梨近代史論集』(岩田書院、2004) 『私の郷土史・日本近現代史拾遺』(山梨ふるさと文庫、2012)	『山梨の近代』 『山梨近代史論集』	2020/10/9	市川三郷
アルカ コウ 有賀 剛	男	1983 	塩山市	甲州市	『山梨県人物・人材情報リスト2011』	芸術・スポーツ	ラグビー選手 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p.25～26)中日新聞2006.12.19夕刊7面毎日新聞2006.11.17朝刊20面朝日新聞2006.11.02夕刊15面読売新聞2005.12.14朝刊20面『山梨県体育史第3巻』(山梨県体育史編集委員会、2008、写真でみる山梨体育・スポーツの20年の項目に写真と数行の紹介あり)	2016/11/30	塩山	
アワジ イロウ 淡路 一郎	男	1927 2020	甲西町	南アルプス市	『山梨県人物人材情報リスト2019』 山梨日日新聞	文学	元山梨県議、農協理事、甲西町長に2選、1995年山梨県議に当選1期つとめる。1999年落選(『山梨県人物人材情報リスト2019』)2006年『赤い大地』で中村星湖特別賞受賞(『山梨日日新聞』)	『赤い大地』(やまなしふるさと文庫2005) 『倉角了以と富士川』(やまなしふるさと文庫2011)	『山梨県人物人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ2018,p51)「山梨日日新聞」(2006.9.23、24面)	2020/10/28	甲西

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
アンドウ ミキエ 安東 みきえ	女	1953 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』	文学	児童文学作家。 本名、安東美貴恵。 1994年、『ふゆのひだまり』で第11回小さな童話大賞受賞。 2001年、『天のシーソー』で第11回椋鳩十児童文学賞受賞。 2007年に刊行した『頭のうちどころが悪かった熊の話』は大人が読んでも楽しめるユーモアと皮肉に富んだ物語で話題となる。 2018年、『満月の娘たち』で第56回野間児童文芸賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 『夜叉神川』で日本児童文学者協会賞(第62回)受賞 (日本児童文学2022.7-8月号)	『どこまでいってもほんぶんこ』(ひかりのくに、1996) 『天のシーソー』(理論社、2000) 『頭のうちどころが悪かった熊の話』(理論社、2007) 『まるまれアルマジロ!』(理論社、2009) 『ゆめみの駅遺失物係』(ポプラ社、2014) 『迷いクジラの子守歌』(PHP研究所、2016) 『夜叉神川』(講談社、2021.) 『メンドリと赤いてぶくろ』(KADOKAWA、2021)	『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p298) 『山梨日日新聞』(2009.1.13、9面、2012.1.19、9面、 『山梨日日新聞』2018.11.6、23面)	2022/9/30	甲府
イ ヤンジ 李 良枝	女	1955 1992	西桂町	西桂町	『山梨県人物・人材情報リスト2013』	文学	小説家、韓国舞踊家。本名、田中淑枝。早稲田大学社会科学部中退、ソウル大学国語国文学科卒。『由熙(ゆひ)』で第100回芥川賞受賞。 1989年ソウルで、弟子入りしていた金淑子の公演に出演する。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』)	『かずきめ』(講談社、1983) 『刻』(講談社、1985) 『由熙』(講談社、1989) 『石の声』(講談社、1992)	『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p317、515) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸出版、1993、p232)	2014/11/25	富士吉田
イジマ シゲル 飯島 茂	男	1868 1953	春日居村	笛吹市	『春日居町誌』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』	歴史・地理 自然科学・医学	陸軍軍医総監。 1891年山梨県日川病院長、1892年峡東医会会頭、1894年陸軍三等軍医となり、第六師団付、1897年陸軍軍医学校修了。 1924年陸軍軍医総監、1925年陸軍軍医学校長となった。1926年退官。 竜孫、甲山、不求安居主人の号で詩歌をよくした。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』、『春日居町誌』)	『行軍病論』(南江堂書店、1912、県立図書館所蔵) 『視墨新語』(雄山閣、1935、県立図書館所蔵)	『春日居町誌』(春日居町、1988、p1362~1373) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p457~458)	2022/10/14	春日居
イジマ シスオ 飯島 志津夫	男	1934 2007	東京都	東京都	『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	写真家。1969年山梨日日新聞紙上に東京から富士山頂までをテーマに45回の連載を発表。1976年~80年個展「富士山」を開催。日本カメラ社年度賞(1962年)、中華民国国際写真サロン金賞(1985年)、富士吉田文化功労賞(1987年)、芙蓉文化賞(第2回、1997年)受賞。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』、『山梨日日新聞』)	『富士山-その風土と参道-』(飯島志津夫著、研光社、1973) 『富士五湖風物誌』(萱沼英雄文、飯島志津夫写真、文一総合出版、1980) 『富士光彩』(飯島志津夫著、ぎょうせい、1986) 『ふじさん』(飯島志津夫写真、フレーベル館、1989) 『富士山の四季』(飯島志津夫著、日本カメラ社、1991)	『山梨日日新聞』(2007.11.21、27面)(2008.12.24、16面) 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p435)	2014/11/25	富士吉田

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
イダ シロウ 飯田 四郎	男	1932 2011	山梨市	山梨市	『日本美術家事典』 『飯田四郎展図録』	芸術・ス ポーツ	画家 1987年「天上の詩」で第8回日伯現 代美術受賞者展金賞受賞 (『飯田四郎展図録』)	『飯田四郎展図録』(1992) 『樹木を描く』(グラフィック社、1992) 『うつる』(福音館書店、1972)	『日本美術家事典』(オーアンドエム リミテッド、1995、p231)	2020/10/20	上野原
イダ タコツ 飯田 蛇笏	男	1885 1962	五成村	笛吹市	『山梨百科事典』	文学	俳人 本名、飯田武治 別号「山廬(さんろ)」 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人 材情報リスト』2021)	『山廬集』(雲母社、1932) 『山響集』(河出書房、1940) 『雪峽』(創元社、1951) 『美と田園』(育英書院、1941) 『旅行く諷詠』(人文書院、1941) 『山廬随筆』(宝文館、1958) 『明丘舎句集』(1926) 『現代俳句の批判と鑑賞』(創元社、 1950) 『現代俳句の批判と鑑賞続』(創元 社、1953) 『飯田蛇笏集成第1巻～第7巻』 (角川書店、1994～2002) 『飯田蛇笏前句集』(KADOKAWA、 2016)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p49) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p299～ 300) 『東ハメモリーズこんなひとがい た。』(東八代広域行政組合、2002、 p41～54) 『境川村誌』(境川村、1978、p786～ 791) 『飯田蛇笏』(角川源義著、桜楓社、 1980、p146～147) 『日本の詩歌19』(中央公論社、 1979) 『飯田蛇笏展』(山梨県立文学館、 1992) 『山廬の四季飯田秀實随筆・写真集 蛇笏・龍太・秀實の飯田家三代の暮 らしと俳句』(飯田秀實著、コール サック社、2022)ほか	2022/11/5	石和
イダ ブンヤ 飯田 文彌	男	1928 	山梨市	山梨市	『山梨県の歴史』	社会科学	山梨県立高校教諭歴任 甲斐史学会委員 (『郷土史にかがやく人々』) 塩山市文化財審議会会長 山梨県文化財保護審議会有形文化 財部会長 山梨県史編纂専門委員 2004年秋瑞宝双光章受章 (『山梨日日新聞』)	『山梨県の歴史』(山川出版 社、1999) 『山梨の百年』(NHKサービスセン ター甲府支所、1968) 『甲斐近世史の研究上』(雄山閣、 1974) ほか	『山梨県の歴史』(山川出版社、 1973) 『郷土史にかがやく人々集合編 I』 (青少年のための山梨県民会議、 1974) 『山梨日日新聞』(2004.11.3、5面) ほか	2012/8/21	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
イダ リュウタ 飯田 龍太	男	1920 2007	境川村	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』	文学	俳人 「雲母」主宰 俳人・飯田蛇笏の四男 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』)	『新編飯田龍太読本』(富士見書房、1990) 『地名俳句歳時記』(中央公論社、1986) 『甲斐の四季』(実業之日本社、1983)『飯田龍太全句集』(角川学芸文芸出版、2020)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p300～302) 『飯田龍太の四季』(福田甲子雄著、富士見書房、2001) 『飯田龍太読本』(角川書店、1978) 『飯田蛇笏』(角川源義著、桜楓社、1980、p146～147) 『境川村誌』(境川村、1978、p786～791) 『飯田龍太俳句の魅力』(山梨県立文学館、2021) 『山廬の四季飯田秀實随筆・写真集 蛇笏・龍太・秀實の飯田家三代の暮らしと俳句』(飯田秀實著、コールサック社、2022年)ほか	2022/11/5	石和
イノ サンウ 飯野 燦雨	男	1920 2004	飯野村	南アルプス市	『南アルプスの四季』 『わが故郷の大東亜戦争』 『山梨日日新聞』	文学	俳人。 本名(猛)。「雲母」「白露」同人。元白根町議会議員。 1954年県芸術祭受賞、1988年文化功労実賞受賞。 (『わが故郷の大東亜戦争』)	『黄落』(創風社、1983) 『明けゆく扇状地』(創風社、1984) 『燦雨俳話』(創風社、1984) 『山柿』(創風社、1989) 『燦雨俳句選集』(卯辰山文庫、1992) 『わが故郷の大東亜戦争』(飯野燦雨、2002) ほか	『南アルプスの四季』(飯野燦雨、山梨日日新聞社、2003、p5) 『わが故郷の大東亜戦争』(飯野燦雨、2002、p335～338) 『山梨日日新聞』(2004.3.16、24面)	2012/7/11	白根
イノ フミヒコ 飯野 文彦	男	1961 	甲府市	甲府市	『山梨日日新聞』	文学	小説家。 1984年、ノベライズ『新作ゴジラ』でデビュー。 2001年から甲府市在住。 (『山梨日日新聞』)	『ザ・ハンマー』(エニックス、2002) 『バッド・チューニング』(早川書房、2007) 『ゾンビ・アパート』(河出書房新社、2015) ほか	『山梨日日新聞』(2015.10.18、12面、写真あり) 『SFマガジン』2007年10月号(早川書房、p6～7、249～252)	2018/11/28	県立
イムロ ハツエ 飯室 はつえ	女	不詳	甲府市	甲府市	『魅惑の貝がらアートセーラーズバレンタイン』	芸術・スポーツ	セーラーズバレンタインアーティスト。「日本セーラーズバレンタイン協会」を設立。教室を開催し、講師育成と同時にアメリカのシェルショー出展を目指し本格的に制作開始。 2012年、フロリダのシェルショーに出展し、日本人初のブルーリボン賞受賞。2016年度フロリダ大会、ケーブゴッド大会にて連続「大会最優秀賞」を受賞。(『魅惑の貝がらアートセーラーズバレンタイン』)	『魅惑の貝がらアートセーラーズバレンタイン』(成山堂書店、2016)	『魅惑の貝がらアートセーラーズバレンタイン』	2020/10/25	韭崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ガラシ ツム 五十嵐 勉	男	1949 	甲府市	甲府市	『鉄の光』 『山梨県人物・人材情報リスト 2009』 『山梨日日新聞』	文学	編集者・作家。 本名：渡辺政義。 甲府一高卒。早稲田大卒。 『文芸思潮』編集長。 1979年『流謫の島』で第2回群像新人長編小説賞受賞。 (『鉄の光』) 作家集団「塊」メンバー(『山梨県人物・人材情報リスト2009』) 2001年「鉄の光」で第8回健友館文学賞受賞。 作家集団「塊」代表。(『作家集団塊』(HP))	『微笑みの国タイ』(アジア文化社、1995) 『鉄の光』(健友館、2002) 『緑の手紙』(アジア文化社、1999) 『ノンチャン、NONGCHAN聖丘寺院(ワット・ブノム)へ』(アジア文化社文芸思潮出版部、2013) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2009』(日外アソシエーツ、2008、p28～29) 『山梨日日新聞』(1993.4.20、11面) 『山梨日日新聞』(2017.11.25、15面 顔写真あり) 『作家集団』 http://www.asiawave.co.jp/bungeishichoo/f-kai.htm (2022.8.5確認)	2022/9/30	甲府
かり ソコ 猪狩 そよ子	女	1985 	甲府市	甲府市	『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	漫画家。 2004年、「触れたい心」でデビュー。(『山梨日日新聞』)	『触れたい心』『ザ花とゆめ』(2004/8/1号、白泉社) 『和菓子のアン』(白泉社、2014～2015) 『クチュリエールと赤い糸』(白泉社、2017)	『山梨日日新聞』(2004.7.10、28面)	2018/11/28	県立
イダ トオ 池田 敏雄	男	1937 	都留市	都留市	『広報ふじよした』	歴史・地理 文学	東洋大学法学部卒。 本業の高校教師のかたわら、山梨県の近世史を研究。 1975年、東京大学文学部考古学研究室に派遣される。30年にわたって、江戸の国学者・歌人賀茂季鷹と『富士日記』について研究する。(『山梨県人物・人材情報リスト2004』)	『賀茂季鷹富士日記の研究』(富士山社小御岳神社、1979) 『平成「富士日記」の旅』(山梨ふるさと文庫、1996) 『国学者歌人賀茂季鷹「富士日記」の研究』(武蔵野書院、1997) 『風樹の嘆き』(朱宮義長、1997) 『富士北麓と母』(池田敏雄、2001) 『教師』(池田敏雄、2003) ほか	『広報ふじよした』(2004.4、p18) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p29)	2014/11/25	富士吉田
イシ メグミ 石井 めぐみ	女	1958 	東京都	東京都	『笑ってよ、ゆっぴい』 『山梨市ホームページ』 石井めぐみ公式サイト	芸術・スポーツ 社会科学	『山梨市名誉市民 女優/国立市議会議員 母の実家が山梨県』 (『山梨市ホームページ』 https://www.city.nirasaki.lg.jp/) 1979年：松竹映画「夜又ヶ池」で芸能界デビュー1996年：障害を抱えて生まれた長男の成長を綴った『笑ってよ、ゆっぴい』を執筆。全国の講演会は1,000件を超え、コメンテーターなどで活躍。また、重度障害児の親の会「てんしのわ」を発足し障害者と健常者が共に生きるまちづくりをめざした啓発活動を行っている。2015年：国立市議会議員初当選、現在：市議会議員二期目(石井めぐみ公式サイト http://www.megumiishii.com/)	『笑ってよ、ゆっぴい』石井めぐみ// 著フジテレビ出版扶桑社1996.7	『山梨市ホームページ』 (https://www.city.nirasaki.lg.jp/) 2020.10.22確認 『山梨ムーブ2020』(山梨市、2020) 『ゴールデンライフ』2019.3輝く人103 石井めぐみさん 『広報にらさき』2012年8月号 石井めぐみ公式サイト (http://www.megumiishii.com/) 2020.10.22確認 石井めぐみオフィシャルブログ (https://ameblo.jp/megumiishii/) 2020.10.22確認	2020/10/25	山梨

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
イカワ シゲト 石川 重人	男	1955 	塩山市	甲州市	『21世紀山梨の100人』	技術	建築士 伝匠舎・石川工務店3代目社長 (『21世紀山梨の100人』)		『21世紀山梨の100人』(山梨新報社、2003、p68) 「山梨日日新聞」(1994.8.84面)「伝匠舎HP」http://www.densho-sha.co.jp/(2023.2.21確認)	2023/2/21	塩山
イカワ ヒロシ 石川 博	男	1957 2020	甲府市	甲府市	「山梨日日新聞」 「イメージネーション」 『南総里見八犬伝』 『石川博の仕事』	歴史・地理	駿台甲府小学校校長。 駿台甲府学園理事。 日本近世文学会、山梨郷土研究会等に所属。 (「イメージネーション」第9号) 慶応義塾大学卒業。専門は近世文学。(『南総里見八犬伝』) 私立学校教育功労者として表彰される。	『南総里見八犬伝』(編者、角川書店、2007) 「山梨大武をどう捉えるか」(「山梨学院生涯学習センター研究報告」第25輯、山梨学院大学生生涯学習センター、2011) 「魯文「甲府地名くらべ」の翻刻・解題」(「甲斐」第125号、山梨郷土研究会、2011) 「義理か人情か正義か愛か」(「イメージネーション」第9号、山梨文芸協会、2012)ほか 『石川博の仕事』(山梨日日新聞社、2022)	「山梨日日新聞」(2010.2.2、9面、顔写真あり) 「イメージネーション」第9号、山梨文芸協会、2012 『南総里見八犬伝』(角川書店、2007、奥付) 「山梨新報」(2019.12.21)〈わたしのこの1冊〉で松岡正剛編雑誌「遊」を紹介顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.1.318面石川博さんを悼む)2020.1.1962歳での逝去による追悼記事在りし日の写真あり) 『石川博の仕事』(山梨日日新聞社、2022)	2020/10/28 2022/11/07	竜王
イグロ ケンキチ 石黒 建吉	男	1946 	愛知県名古屋 市	愛知県名古屋 市	『ホースマン』	芸術・スポーツ	(財)キープ協会を経て、(公財)山梨県馬事振興センター専務理事、日本馬術連盟理事及び総合馬術本部長、山梨県馬術連盟理事長、同副会長を歴任。 選手として数々の国体や全日本大会等で優勝。 モントリオールオリンピックをはじめとする国際大会に出場、コーチとしてもソウル、バルセロナオリンピック等の国際大会を経験し、2002年の釜山アジア大会では監督として総合馬術団体金メダルを獲得。 野口賞、日本スポーツ大賞、ミズノメンタル賞、やまなしスポーツ賞、山梨県体育協会体育功労者賞、JOCスポーツ功労者賞、文部科学大臣功労者賞を受賞。 (『ホースマン』)	『ホースマン』 (山梨日日新聞社、2017)	『ホースマン』(山梨日日新聞、2017) 「NHKテレビテキストチャレンジ！ホビー馬で大地を駆け抜けたい！」(NHK出版、2011) 「山梨スピリッツ」2015年夏号(山梨放送、2015、p72～72) 『馬とともに山梨県馬術連盟20周年記念誌』(山梨県馬術連盟、1995)(寄稿あり)	2018/11/12	小淵沢

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
インダ タン 石田 高	男	1937 	大和村	甲州市	『山梨の奇岩と奇石』	自然科学 学・医学	地質学者 (『山梨の奇岩と奇石』)	『山梨の奇岩と奇石』(山梨日日新聞、2002) 『山梨の自然をめぐって』(築地書館、1984)	『山梨の奇岩と奇石』(奥付)	2012/8/21	大和
インバシ タンザン 石橋 湛山	男	1884 1973	東京府	東京都	『石橋湛山』	社会科学	言論人・政治家・思想家。戦前では植民地放棄論、小国主義を唱えた経済ジャーナリスト。戦後、政界に転身して第1次吉田内閣の大蔵大臣を務め、独立後、鳩山内閣の通産大臣(3回)を経験。自由民主党第2代目総裁。第55代内閣総理大臣。(『石橋湛山』)幼児期から高校生までの間を山梨県で過ごす。	『石橋湛山全集』全16巻(東洋経済新報社、1988-2011)『石橋湛山評論集』(岩波書店、1991)『石橋湛山』(ミネルヴァ書房、2017)『平和の港』(山梨平和ミュージアム石橋湛山記念館、2017)『石橋湛山の慈悲精神と世界平和』(コールサック社、2018)ほか	『コンサイス日本人名事典第4版』(三省堂、2001、p104)『日本史人物辞典』(山川出版社、2000、p75,76)『政治的良心に従います』(江宮隆之、河出書房新社、1999、表紙に顔写真あり)『石橋湛山』(姜克貴、吉川弘文館、2014(顔写真あり)) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p2、p92、p369) 『山梨日日新聞』(2018.4.11、18面)	2023/3/9	わかくさ
インハラ ナオタロウ 石原 直太郎	男	1861 1916	南部町	南部町	『南部町誌』 『南部地区における明治の群像』	歴史・地理	蒙軒学舎に学ぶ。同志社大学卒業。軍役につく。睦合村長、県議会委員、県参事会員、南部銀行頭首を歴任。(『南部地区における明治の群像』)		『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、p396) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、p15)	2012/8/14	南部
インハラ ハツタロウ 石原 初太郎	男	1870 1931	松島村	甲斐市	『山梨百科事典』	産業 自然科学 学・医学	地質学者。東京帝国大学卒業後、山口、鳥根、山形で中学校校長を歴任。1921年山梨県嘱託となり県内一帯の地質および動植物の調査研究ならびに景勝地開発事業に従事して山梨県の観光開発に大きな功績を残した。嗣子石原明は数学者、理博東大教授。娘美知子は太宰治夫人。(『山梨百科事典』)	『御嶽昇仙峡と其奥』(上田泰文堂、1930) 『富士の研究5』(古今書院、1928) 『普通教育実験地理学通論』(宝文館、1923、県立図書館所蔵)『実験を主としたる自然地理学概論』(宝文館、1929、県立図書館所蔵)ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p58) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p39)『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ2014、p242) 『郷土史にかがやく人々』第13集(青少年のための山梨県民会議、1982、p1~23、p11に顔写真、p7に家系図あり) 『ランデブー』16号(コミヤマ工業、2003年10月号、p36~47) 『甲斐路』35号(山梨郷土研究会、1979、p16~17)ほか	2016/11/4	敷島

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
イシハラ フミオ 石原 文雄	男	1900 1971	市川大門 町	市川三郷町	『山梨百科事典』	文学	小説家。 代表作「断崖の村」は第13回芥川賞 候補作品。 (『山梨百科事典』)	『断崖の村』(高須書房、1946) 『太陽樹』(文昭社、1941) 『影と影』(甲陽書房、1960) 『石原文雄作品集』(石原しの、 1996)	『山梨百科事典』 (山梨日日新聞、1989、p58) 『山梨の文学』 (山梨日日新聞社、2001、p212) 『山梨の作家2』 (山梨ふるさと文庫、1995、p9) 『忘れ得ぬ人びと』(甲陽書房、 1986、P121～129)	2020/10/9	市川三郷
イシハラ ヤツカ 石原 八束	男	1919 1998	錦生村	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』 『石原八束花神コレクション< 俳句>』	文学	俳人。 1937年飯田蛇笏に師事、戦後飯田 龍太と「雲母」を編集、1960年主催 誌「秋」創刊。 1975年『黒凍みの道』が第26回芸術 選奨文部大臣賞(文学評論部門) を、1988年『駱駝の瘤にまたがって』 が第2回中村星湖文学賞を、1996 年第9回現代俳句協会大賞、1998 年に『飯田蛇笏』で第12回俳人協会 評論賞を受賞。 1984年紫綬褒章、1992年勲四等旭 日小綬賞授賞。 本名：石原登	『黒凍みの道』(牧羊社、1975) 『駱駝の瘤にまたがって三好達治 伝』(新潮社、1987)ほか	『俳文学大辞典』(角川書店、1995、 p42)、 『山梨日日新聞』(1989.8.26、11面、 1998.7.19、23面、1998.7.22、15面、 1999.11.10、9面、全て写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』 (日外アソシエーツ、2022、p320)	2023/2/23	県立
イヅリ カズオ 井尻 千男	男	1938 2015	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト 2004』	社会科学	評論家、コラムニスト。 拓殖大学日本文化研究所所長。 元・日本経済新聞編集局文化部編 集委員。 2008年山梨市根津記念館館長に任 命される。 『劇的なる精神・福田恒存』で第8回 中村星湖賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』)	『産業知識人の時代』(PHP研究所 1982) 『文章表現の研究』(日本エディター スクール出版部、1992) 『自画像としての都市』(東洋経済新 報社、1994) 『劇的なる精神・福田恒存』(日本教 文社、1994徳間書店、1998) 『言葉を玩んで国を喪う』(新潮社、 1995) 『書に依りて世を論ず』(新潮社、 1996) 『漫録おやじ日本を叱る』(新潮社、 2000) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p37～ 38)	2022/11/27	山梨

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
イソガイ マサヨシ 磯貝 正義	男	1912 2008	岐阜県	岐阜県 瑞浪市	『甲斐源氏と武田信玄』 『山梨日日新聞』	歴史・地理	武田氏研究の第一人者。 2002年、『甲斐源氏と武田信玄』で 野口賞受賞。 『山梨県史』編さん委員会副会長・ 古代部会長をつとめた。 (『山梨日日新聞』) 山梨大学教授、山梨県立考古博物 館館長などを歴任。 1984年、勲三等旭日中綬章。 (『甲斐源氏と武田信玄』) 武田史研究会会長、山梨大学名誉 教授。山梨県文化財保護審議会会 長、甲府市史編さん委員会会長や 他自治体史編纂委員会でも委員長 などを務めた。(『山梨県人物・人材 情報リスト2021』)	『甲斐源氏と武田信玄』(岩田書院、 2002) 『定本武田信玄』(新人物往来社、 1978) 『山梨県の歴史』(飯田文弥と共著、 山川出版社、1977) 『武田信玄のすべて』(磯貝正義 編、新人物往来社、1978) ほか	『甲斐源氏と武田信玄』(奥付) 『山梨日日新聞』(2008.4.5、16面、 2008.7.26、31面、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p189) ほか	2022/9/30	甲府
イサカ ウシヤク 市川 右若	男	1981 □	甲府市	甲府市	『山梨日日新聞』 『かぶき手帖2019年度版』	芸術・ス ポーツ	富竹中学校卒業。 1997年、7月市川右近に入門し、歌 舞伎座「夏祭浪花鑑」の仲居で初舞 台。 1998年2月、国立劇場「春秋公演」 『摂州合邦辻』の腰元ほかで市川喜 昇を名のる。 2013年1月、大阪松竹座『毛抜』の腰 元若菜で名題昇進。 2017年1月、新橋演舞場『黒塚』の後 見で二代目市川右若を名のる。 (『かぶき手帖2019年度版』) 2016年より、甲府大使。 (『山梨日日新聞』)		『山梨日日新聞』(2005.3.26、15面、 顔写真あり、2012.10.30、9面、顔写 真あり、2016.5.19、19面、顔写真あ り) 『かぶき手帖2019年度版』(日本俳 優協会、2019.1.2、P48) ほか	2022/9/30	甲府
イサカ フンゾウ 市川 文蔵 (保貴)	男	1864 1935	甲西町	南アルプス市	『山梨百科事典』	社会科学	政治家、企業家。 県会議員、衆議院議員などに当 選。 市川銀行、峡西電力会社社長、山 梨貯蓄銀行取締役などを歴任。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p67) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p3、p95)	2020/10/28	甲西
イチジョウ ノブシ 一條 宣好	男	不詳	敷島町	甲斐市	『山梨日日新聞』	歴史・地 理	甲斐市在住。敷島書房店主。山梨 郷土研究会会員。	『南方熊楠と『甲斐昔話集』』 (一條宣好、2016)	『山梨日日新聞』 (2019.1.6、20面、2020.7.2、18面写 真あり)	2022/11/30	敷島

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
イデ ワジユウ 井出 和重	男	1882 1949	清春村	北杜市	『清春村誌』 『山梨百科事典』	社会科学	郷土産業の振興に尽くす。 清春村村長。 県会議員。 (『山梨百科事典』)		『清春村誌』(井出藤太郎、1964、 p364~366) 『長坂町誌(下)』(長坂町、1990、p 1037,1039) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p78)	2013/1/30	ながさか
イトウ ウタ 伊藤 うた	女	1868 1934	穴山村	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト 2019』	社会科学	1900年、甲府に山梨裁縫学校を開 いた。 1918年、同校を山梨女子実科高等 女学校に改組。さらに1925年には 甲府湯田高等女学校に昇格した。 1927年、財団法人伊藤学園を設立 して同校の経営を移管し、その理事 長として引き続き教育活動に当た った。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2019』)		『伊藤うた先生とその生涯』(伊藤学 園校友会、1938) 『伊藤うたと学びの里穴山』(伊藤う た顕彰碑建設委員会、2015) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p445) 『学びの襷、次世代へ』(韮崎ふるさ と偉人研究会、2022)ほか	2022/11/30	韮崎
イトウ ケンキチ 伊藤 堅吉	男	1908 1987	伊勢	三重県	『富士の性典』 「広報かわぐちこ」	歴史・地 理 社会科学	民俗学者。 昭和19年(1944)より、富士吉田市・ 大石村をへて船津村へ移住。	『河口湖畔船津今昔物語』(井出公 濟、1952) 『道志七里』(道志七里編纂資料募 集委員会、1953) 『富士講のおうた考』(富士高原開 発、1963) 『富士の性典』(富士博物館、1964) 『性の石神』(山と溪谷社、1965) 『甲州性的伝説』(緑星社、1980) 『河口湖周辺の伝説と民俗』(緑星 社、1980) 『甲斐性的民話』(緑星社、1983) 『河口湖の民話と伝説』(河口湖町 文化財審議会、年代不詳) ほか	『富士河口湖町古の小径集成版』 『富士の性典』 「広報かわぐちこ」(1988年2月号)	2023/2/24	富士河口湖
イトウ ショウケイ 伊藤 松逕	男	1833 1905	穴山村	韮崎市	『韮崎市誌』	文学	俳人。 堀秀成の門下に学び、国学を修め る。 勝山亭梧齋に俳諧を学んで知遇を 受け、その真髓を究める。 各地の俳人と交わり頭角を顕し、近 郷多数の弟子を教導する。 1899年、小田川の金毘羅神社境内 に句碑が建てられる。 (『韮崎市誌』)		『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委 員会編、韮崎市、1979、p425)	2018/11/27	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
伊藤 生更 イノウ セイコウ	男	1884 1972	穴山村	韮崎市	『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2019』	文学	本名基胤(もとたね)。山梨県師範学校を経て母校の教師となり、国語、国文学を講じる。歌はアララギ短歌を通じ、齋藤茂吉の指導を受け、後に同人となる。1935年、短歌結社美知思波を設立。1963年、門弟たちによって愛宕山中腹に歌碑が建立される。『山梨百科事典』山梨県の短歌会をリードした。また山を歩き、山芋掘りが好きだったことから“山芋先生”の異名をとる。『山梨県人物・人材情報リスト2019』	『作家道』(美知思波発行所、1949)『茂吉秀歌の鑑賞』(日本文芸社、1959)『甲斐之國』(美知思波発行所、1965)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p79)『山梨の歌人たち』(中沢玉恵、山梨日日新聞社、2006、p41-62)『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p301)	2018/11/27	韮崎
伊藤 洋 イノウ ヒロシ	男	1940 	市川大門町	市川三郷町	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	技術 文学	山梨大学名誉教授。元山梨県立大学理事長・学長。『山梨県人物・人材情報リスト2019』	『最新コンピュータネットワークがわかる』(技術評論社、2002)『河川文化21巻』(川と芭蕉、2006)『えんびつで奥の細道』(ポプラ社、2006)『松尾芭蕉(コミック版世界の伝記14)』(ポプラ社、2012)『えんびつで奥の細道簡易版』(ポプラ社、2012)	『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p246)	2022/8/18	玉穂
稲葉 清右衛門 イナハ セイウエモン	男	1925 2020	茨城県	茨城県	『現代日本人名録2002』『忍野村史増補版第1巻』『現代物故者事典2018-2020』	技術 社会科学	(株)ファナック(本社所在地:忍野村)創業者、相談役名誉会長。工学博士。紫綬褒章、勲二等瑞宝章。『現代日本人名録2002』忍野村名誉村民第4号・ルクセンブルククロン・ド・シェーヌ勲章受章・エンゲルバーガー賞受賞・ルクセンブルク勲二等メリット章受章・藍綬褒章受章・勲二等瑞宝章受章・『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021)	『黄色いロボット』(日本工業新聞社、1991)『やさしいNC読本』(日本能率協会、1986)『ロボット時代を拓く』(PHP研究所、1982)ほか	『現代日本朝日人物事典』(朝日新聞社、1990、p188)『現代日本人名録2002-1』(日外アソシエーツ、2002、p782)『日刊工業新聞』(2020.10.7、1面)『稲葉清右衛門の生涯厳密と透明』(ファナック、2011)『日本のものづくりを支えたファナックとインテルの戦略』(光文社、2019)『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021、p1134)	2022/7/31	おしの
稲葉 善治 イナハ ヨシハル	男	1948 	茨城県	茨城県	『山梨県人物・人材情報リスト2017』	技術 社会科学	(株)ファナック(本社所在地:忍野村)会長。工学博士。藍綬褒章受章『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日外アソシエーツ、2016)日本工作機械工業会会長(日刊工業新聞HP2021.5.28)	『電動サーボ式射出成型機と精密成型』(日刊工業新聞社、1999)『私の履歴書』(日本経済新聞、2022、1月1日～1月31日)	『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日外アソシエーツ、2016)『日本にしかできない技術がある』(PHP研究所、2004、p227)	2022/7/31	おしの

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
イナムラ ハンシロウ 稲村 半四郎	男	1906 2005	旧富士見 村	笛吹市	『山梨興信録』	産業	農業研究家 生活改善運動の活動 元富士見村村長 (『山梨興信録』)	『年寄りのくらしを考える』(農文協、1971) 『むらに生きる先人の知恵』(農文協、1979) 『富士見よもやま話』(石和町立富士見小学校、1983) 『稲村せいわが母の思い出』(1980)	『山梨興信録』(1979、山梨日日新聞社、p124)	2020/10/6	石和
イノウエ タケヒロ 井上 武寛	男	1921 2018	六郷町	市川三郷町	『峠路』(星雲社)	文学	満州国立中央師道学院卒業 山梨県下小中学校の教諭・教頭・校長・上野原町教育長	『峠路』(星雲社、2011)『聲明』(創栄出版、2011)	『峠路』(星雲社)	2023/3/7	上野原
イノウエ マコト 井上 真	男	1960 	山梨県	山梨県	『山梨県人物・人材情報リスト2015』	産業 技術 社会科学	農水省森林総合研究所を経て、東京大学大学院農学生命科学研究科教授。 この間、1987年から約3年間国際協力事業団の熱帯降雨研究プロジェクトに参加。 専攻分野は林業経済学、インドネシア地域研究。農学博士。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)、『山梨県人物・人材情報リスト2015』)	『commonsの思想を求めて』(岩波書店、2004、県立図書館所蔵) 『熱帯雨林の生活』(築地書館、1991、県立図書館所蔵) 『焼畑と熱帯林』(弘文堂、1995、県立図書館所蔵) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p50)『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ、2014、p178)『破壊から再生へアジアの森から』(依光良三編、日本経済評論社、2003、奥付)	2016/11/4	敷島
イノウエ ヤスアキ 井上 康明	男	1952 	韮崎	韮崎市	『峡谷』 『四方』	文学	俳人。 2012年度まで山梨県立文学館に勤務。(『山梨県立文学館年報平成24年度』) 1970年代に俳句誌「雲母」入会、1992年「雲母」終刊。 1993年創刊の俳句誌「白露」創刊同人、副主宰。(『峡谷』) 2012年「白露」が終刊した後、2013年1月に創刊された「白露」の流れをくむ「郭公」を主宰。「郭公」 2006年より山日文芸俳句選者を務める。甲府市在住。 (『山梨日日新聞』)	『四方』(花神社2000) 『峡谷』(角川書店2012)	『峡谷』(角川書店、2012、P222) 『山梨県立文学館年報平成24年度』(山梨県立文学館、2013、P67) 『郭公』(郭公社、2013年1月創刊号、後記) 『山梨日日新聞、2022.7.12.24面』	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
マイヨシマ 今井 栄文	男	1911 1984	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2013』	社会科学	海上保安庁長官、新東京国際空港公団総裁。俳人。俳号は今井湖峯子。逓信省に入り、1954年海上保安庁に移る。1956年第5管区保安部長、1958年航空局監理部長、1960年航空局長、1963年運輸省官房長、1964年海上保安庁長官を歴任して、1965年退官。以後、新東京国際空港公団総裁、日本空港ビル取締役相談役を務めた。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p325) 「山梨日日新聞」(1999.6.22、13面)	2014/11/25	富士吉田
イマカワ トクゾウ 今川 徳三	男	1919 2020	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 「山梨日日新聞」	文学	小説家。 本名、今川徳蔵。 日本文芸家協会、日本ペンクラブ、大衆文学研究会会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 大衆文学研究会の山梨支部を立ち上げ、県内の同人らと「文学と歴史」を創刊。(「山梨日日新聞」)	『隠密同心』(叢文社、2002) 『紅蓮の翼』(叢文社、2007) 『実録・山本勘助』(河出書房新社、2006) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p302) 「山梨日日新聞」(2005.1.23、12面 顔写真あり) 『武田の軍略』(教育社、1987、奥付) 「山梨日日新聞」(2011.5.5、9面 顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.11.27、8面、 顔写真あり)	2022/9/30	甲府
イマニシ カンイチ 今西 幹一	男	1936 2009	大阪府	大阪府	『佐藤佐太郎短歌の諸相』 『二松学舎の学芸』	文学	専門は近代詩歌を中心に近代文学。 中高教員のかたわら、関西学院大学大学院文学科日本文学線香修士課程、博士課程を修了。 山梨英和短期大学助教授、教授を経て二松学舎大学文学部教授、後に大学院教授、二松学舎大学学長。 日本文芸家協会会員、現代歌人協会会員。 (『佐藤佐太郎短歌の研究』) 『佐藤佐太郎短歌の研究—佐藤佐太郎と昭和期の短歌』で、第6回日本歌人クラブ評論賞を受賞。 (『二松学舎の学芸』)	『佐藤佐太郎の短歌の世界』(桜楓社、1985) 『正岡子規の短歌の世界』(有精堂出版、1990) 『文人短歌』1,2(朝文社、1992) 『佐藤佐太郎短歌の研究』(おうふう、2007) 『佐藤佐太郎短歌の諸相』(おうふう、2010) ほか	『佐藤佐太郎短歌の研究』(今西幹一、おうふう、2007) 『二松学舎の学芸』(今西幹一・山口直孝編、翰林書房、2010) 『佐藤佐太郎短歌の諸相』(おうふう、2015)	2018/11/27	韭崎
イマムラ テルヒロ 今村 照廣	男	1944 	田富町	中央市	『ピカソ“ゲルニカ”からのメッセージ』	芸術・スポーツ	山梨県の公立小・中学校の美術教師、校長として38年間勤務 (『ピカソ“ゲルニカ”からのメッセージ』)	『ピカソ“ゲルニカ”からのメッセージ』(日本文教出版、2005) 『高学年の美術教育』(百合出版、共著、1982) 『つっぱりたちの抵抗』(民衆社、共著、1987)	『ピカソ“ゲルニカ”からのメッセージ』(奥付)	2012/8/10	田富

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
イマムラ トシオ 今村 俊雄	男	1979 	塩山市	甲州市	『山梨県人物・人材情報リスト2011』	芸術・スポーツ	元重量挙げ選手 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)		山梨日日新聞 2004.6.1011面 2004.6.1117面 2004.6.1219面 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p.54)朝 日新聞2004.06.04	2016/11/30	塩山
イマムラ フミヒ コ 今村 文彦	男	1961 	敷島町	甲斐市	『逆流する津波』 『河北新報』 『津波詳細地図にみる東日本 大震災の10年』	自然科学 ・医学	工学博士、津波工学者。 東北大学大学院工学研究科博士課 程修了。 自然災害学会会長、内閣府中央防 災会議専門調査委員会などを歴 任。 東北大学教授。 2014年東北大学災害科学国際研究 所所長。 2019年一般財団法人3.11伝承ロー ド推進機構代表理事。	『逆流する津波』 (成山堂書店、2020) 『津波詳細地図にみる東日本大震 災の10年』 (古今書院、2022)	「山梨日日新聞」 (2012.5.30、26面顔写真あり) 「河北新報」 (2016.3.16、13面顔写真あり) 『逆流する津波』 (成山堂書店、2020奥付に顔写真 あり) 『津波詳細地図にみる東日本大震 災の10年』 (古今書院、2022奥付に顔写真あ り)	2022/11/30	敷島
イワカ ダイイチ 色川 大吉	男	1925 2021	千葉県	千葉県	『現代日本人名録2002-1』 『20世紀日本人名事典-1』 『猫の手くらぶ物語』	歴史・地 理	歴史家。 東京大学文学部国史学科卒業。東 京経済大学名誉教授。北州市在 住。 『民衆史』、『自分史』提唱者、自由 民権百年全国実行委員会代表委 員、不知火海総合学術調査団団長 などを歴任。『ある昭和史』で昭和 50年毎日出版文化賞。 (『現代日本人名録2002-1』 『猫の手くらぶ物語』『20世紀日本人 名事典』)	『明治精神史』(講談社、1978) 『ある昭和史』(中央公論、1978) 『色川大吉著作集全5巻』(筑摩書 房、1995) 『猫の手くらぶ物語』(山梨日日新聞 社、2008) 『昭和へのレクイエム』(岩波書店、 2010) 『戦後七十年史1945-2015』 (講談社、2015) 『不知火海民衆史上・下』(摇篮社、 2020)ほか	『現代日本人名録2002-1』(日外ア ソシエーツ、2002、p910) 『山梨日日新聞』(2011.11.02、10 面、顔写真あり) 『猫の手くらぶ物語』(山梨日日新聞 社、2008) 『20世紀日本人名事典-1』(日外ア ソシエーツ、2004、p331) 『山梨日日新聞』(2021.9.8、1面19 面21面顔写真あり) 『民衆史の狼火を追悼色川大吉』 (不二出版、2022)	2022/10/1	金田一
イワクラ ヒロシ 岩倉 博	男	1947 	宮城県	宮城県	『ある戦時下の抵抗』	文学	1947年、宮城県角田市生まれ。 1970年、福島大学経済学部卒業。 1995年、東京地方労働組合総連合 (東京労連)事務局に入局。2003年 まで事務局長。08年まで東京地方 労働組合評議会(東京地評)書記。 山梨県北州市在住。 (『ある戦時下の抵抗』)	『異評司馬遼太郎』(草の根出版 会、2006) 『ある哲学者の軌跡』(家伝社、 2012) 『ある戦時下の抵抗』(花伝社、 2015) 『吉野源三郎の生涯』(花伝社、 2022)	『ある戦時下の抵抗』(奥付) 『山梨日日新聞』 2022.8.139面	2022/11/17	はくしゅう

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
イワコウ ミツアキ 岩合 光昭	男	1950 	東京都	東京都	『スノーモンキー』	芸術・スポーツ	1970年、ガラパゴス諸島を訪れたのが契機となり、大学卒業後動物写真家として活動を始める。 『海からの手紙』で木村伊兵衛賞受賞。 『セレンゲティ』で日本写真協会年度賞受賞。 『サバンナからの手紙』で講談社出版文化賞受賞。 ほか、『ナショナル・ジオグラフィック』等海外のメディアでも特集される。テレビ番組等でも活躍している。 (『スノーモンキー』) 1992年より小淵沢町に在住。 『岩合光昭デジカメ日記』P258に記載。	『海からの手紙』(朝日新聞社、1981) 『セレンゲティ』(朝日新聞社、1984) 『サバンナからの手紙』(朝日新聞社、1985) 『おきて』(小学館、1996) 『ニッポンの犬』(平凡社、1998) 『ニッポンの猫』(新潮社、2000) 『ホッキョクグマ』(新潮社、2003) 『スノーモンキー』(新潮社、2005) 『パンダ』(新潮社、2007) 『地球動物記』(福音館書店、2007) 『岩合光昭の世界ネコさがし』(クレヴィス、2018) 『岩合光昭の日本犬図鑑』(文溪堂、2018)ほか 『PANTANAL』(クレヴィス、2020)	『スノーモンキー』(新潮社、2005、表紙裏) 『パンダ』(新潮社、2007、奥付) 「岩合光昭」ホームページ http://www.digitaliwago.com/ (2012.8.10確認)	2023/2/21	小淵沢
イワサキ セイゴ 岩崎 正吾	男	1944 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』	文学	ミステリー作家。 本名、岩崎征吾。 山梨ふるさと文庫代表取締役、山梨学院大学講師。日本文芸家協会所属。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』)	『横溝正史殺人事件あるいは悪魔の子守歌』(山梨ふるさと文庫、1987) 『風よ、緑よ、故郷よ』(東京創元社、1988) 『遥かな武田騎馬隊真田幸村と十人の勇士たち』(山梨ふるさと文庫、2016) 『信長殺すべし異説本能寺』(山梨ふるさと文庫、2018)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p305) 『山梨日日新聞』(2006.09.20、12面顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2016.06.15、15面)	2022/9/30	甲府
イワマ マコヘエ 岩間 孫兵衛	男	1803 1870	御代咲村	笛吹市	『山梨百科事典』	自然科学・医学	算法の免許を取得 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞、1989、p90) 『東八代メモリーズこんなひとがいた』(東八代広域行政事務組合、2002、p61) 『一宮町誌』(一宮町、1967、p1128) 『御代咲村誌』(御代咲村立農業青年学校青窓会、1938、p551)	2012/8/20	一宮
ウエダ ホンショウ 上田 本昌	男	1930 2022	身延町	身延町	『山梨県人物・人材情報リスト2002』 『日蓮聖人と法華仏教』	哲学・宗教 文学	立正大学仏教学部・宗学科卒業。同大学院修了。 身延山大学名誉教授。文学博士。日本仏教学会理事、日蓮宗勸学院副院長、身延山執事、身延町文化協会会長などを歴任。 ホトギス同人。排号は正久日(まさくに)。 身延町山上沢寺住職。 (『山梨県人物・人材情報リスト2002』)	『日蓮聖人の救済観』(国際情報社、1982) 『身延の日蓮聖人』(銀杏堂、1999) 『日蓮聖人における「智者」と「行者」』(『日蓮聖人と法華仏教』、大東出版社、2007) 句集『句道仏心』(ホトギス社、1968) 句集『身延路』(東京美術、1983)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2002』(日外アソシエーツ、2002、p52) 『日蓮聖人と法華仏教』(巻頭に略年譜、写真あり) 『山梨日日新聞』(1991.6.22/7面、1996.7.13/29面、1997.12.17/10面1999.7.29/12面、2005.11.29/15面、2011.4.10/16面、2018.10.3/24面)	2022/11/30	身延

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ウエダ ミエ 上田 美枝	女	1908 2002	市川大門町	市川三郷町	『きものひとすじ九十余年』 『山梨県人物・人材情報リスト 2004・2011』	技術	1959年、裁ち目のない産着にて特許取得、女性初の「注目発明賞」受賞。 1962年、全国発明婦人協会副会長に就任。 1964年、東京都知事賞。 1965年、ニューヨークで展示会。 1966年紫綬、1973年紺綬褒章受賞。 1969年、パリで展示会。 1978年、下部町(現身延町)に「美枝きもの資料館」設立。 1993年、東京にて展覧会開催。のちドイツJLC国際文化交流使節団として渡航。 下部町名誉町民。 (『きものひとすじ九十余年』『山梨県人物・人材情報リスト2004・2011』)	『新しい仕立方のきもの』(マコー社、1963) 『新和裁全書』(マコー社、1966) 『工夫仕立のきもの』(マコー社、1974) 『きもの百科5やさしく縫えるきもの』(マコー社、1975) 『わたしの歩んだ道』(上田美枝、1991) 『きものひとすじ九十余年』(婦人画報社、1999、年譜、写真あり)	『きものひとすじ九十余年』(巻末に年譜あり) 『山梨のおんな』(山梨女性史の会、1986、p263) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2004、p56) 『同2011』(2011、p58) 『山梨日日新聞』(1991.1.24/11面、2002.12.30/4面、2007.10.16/32面、2009.10.6/15面) 『美枝きもの資料館公式サイト』(https://mie-kimonomuseum.or.jp)	2022/11/30	身延
ウエノ イワオ 上野 巖	男	1933 2021	明野村	北杜市	『山梨の滝』	芸術・スポーツ	写真家。 山梨県とその周辺の山岳及び自然景観を撮るフリーカメラマン。日本山岳写真協会会員。 (『山梨の滝』)	『雲の地図上野巖詩集』(甲陽書房、1960) 『南アルプス四季の彩り』(山梨日日新聞社、1983) 『山梨のハイイクコース』(山梨日日新聞社、1991) 『山梨の滝』(山梨日日新聞社、1999) 『やまなしの富士名峰からの眺望』(山梨日日新聞社、2006) ほか	『やまなしの富士名峰からの眺望』(山梨日日新聞社、2006、巻末)	2023/3/1	明野
ウエノ ハルオ 上野 晴朗	男	1923 2011	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト 2004』	歴史・地理 社会科学	歴史研究家。 司書学芸員として図書館・博物館に勤務。 1967年より文筆活動に入る。 山梨県文化財審議会委員、山梨県環境保全審議会委員等を歴任。 NHK大河ドラマ「武田信玄」の時代考証担当。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』)	『甲斐武田氏』(新人物往来社、1972) 『やまなしの民俗上・下巻』(光風社書店、1972) 『落日の武将武田勝頼』(山梨日日新聞社、1982) 『武田信玄城と兵法』(新人物往来社、1986) 『武田信玄上・下巻』(潮出版社、1987) 『山本勘助のすべて』(新人物往来社、2006) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p57)	2022/11/27	山梨
ウエノ ヒサオ 上野 久雄	男	1927 2008	御坂町	笛吹市	『現代短歌大事典』 『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』	文学	歌人。 短歌郷土誌「みぎわ」を創刊、主宰。 (『現代短歌大事典』) 1950年、歌誌「アララギ」に入会し、1951年、「未来」創刊に参加。1986年～2008年、山梨日日新聞の山日文芸短歌選者を務めた。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』)	『上野久雄歌集』(砂子屋書房、2003) 『炎涼の星』(不識書院、1984) 『夢名人』(山梨日日新聞社、2002) ほか	『現代短歌大事典』(三省堂、2000、p63) 『山梨日日新聞』(2008.9.18、23面) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p306)	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ウエハラ アキラ 植原 彰	男	1962 	牧丘町	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト2004』	自然科学・医学	ナチュラリスト、小学校教師、ノラやまなし事務局長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』)	『ぼくらの自然観察会』(地人書館、1992) 『学校で自然かんさつ』(地人書館、1993) 『先生からはじめようわくわく環境教育』(国土社、1997) 『いつでもどこでも自然観察』(地人館、2000) 『乙女高原案内人』(乙女高原ファンクラブ、2006)	『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p58)	2009/1/22	山梨
ウエマツ クニオ 植松 國雄	男	1941 2021	長坂町	北杜市	『野菜の花写真館』	産業 芸術・スポーツ	1963年、日本大学芸術学部写真学科卒業後、小学館に入社。 1981年、女性セブン編集長を経て、1997年、小学館取締役。 ふたつの子会社の代表取締役を経て、2007年退職。退職後「野菜の花」の撮影を開始。13年間の作品集となる。(『野菜の花写真館』)	『野菜の花写真館』(敬文舎、2021) 『野の花昆虫写真館(ポストカードブック)』(小学館、2007)	『野菜の花写真館』(敬文舎、2021、奥付)	2022/9/27	ながさか
ウエマツ ナミオ 植松 波雄	男	1913 2011	安都玉村	北杜市	『植松波雄の全仕事』	芸術・スポーツ	写真店経営のかたわらハヶ岳の山岳写真、農村風景を撮り続ける。 山梨県芸術祭賞(1951年) 山梨県文化功労賞(1982年) 山梨県芸術祭賞写真家部門優秀賞(1983年) 長坂町町制45周年記念有功賞(1998年) すべてのネガ・カメラ等を長坂町に寄贈 (2004年) (『植松波雄の全仕事』)	『南ハヶ岳と山麓の四季』(うえまつ写真、1981) 『甲斐国海岸寺うつし霊場百体観世音』(野牛嶋豊二、1987) 『ありし日のハヶ岳南麓』(うえまつ写真、2000) 『植松波雄の全仕事』(植松国雄、2005)	『植松波雄の全仕事』(植松波雄、2005、p126~127)	2013/1/30	ながさか
ウエマツ ハルオ 植松 春雄	男	1922 1996	長坂町	北杜市	『山梨の植物誌』	自然科学・医学	山梨師範学校を卒業後、県内小中学校教諭等を経て、山梨県庁学校教育課勤務。 山梨生物同好会長・山梨県小・中理科研究会長・山梨県自然環境保全審議会委員・山梨県文化財審議会委員等をつとめる。 須玉町江草小学校・長坂小学校で校長をつとめる。	『山梨の植物』(地方書院1958) 『南アルプスの植物』(井上書店1967) 『山梨の草木』(山梨日日新聞社1974) 『山梨県の植物誌』(井上書店1981)	『山梨の植物誌』(井上書店1981) P547~549、	2016/11/25	ながさか

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ウエマツ ミツヒロ 植松 光宏	男	1937 	甲府市	甲府市	『視聴草』	歴史・地理	郷土研究家。 山梨文芸協会会員、山梨郷土史研究会会員。 奈麻余美文庫主宰。 (『視聴草』) 甲府市民文化奨励賞受賞、教育功労者に選ばれる。(「山梨日日新聞」)	『視聴草』(山梨ふるさと文庫、2004) 山梨の洋風建築』(甲陽書房、1977) 『山梨本のある風景』(山梨ふるさと文庫、1989) 『らい・ぶらり』(奈麻余美文庫、1991) ほか	『視聴草』(p185) 山梨日日新聞(2005.3.15、6面、2011.11.3、3面)	2022/9/30	甲府
ウエマツ ミル 植松 稔	男	1956 	甲府市	甲府市	『明るいがん治療3—「明るいがん講座」30話』	自然科学・医学	医学博士。 放射線科専門医・乳癌学会専門医・放射線腫瘍学会認定医。 米国放射線腫瘍学会正会員。 四次元ピンポイント放射線治療を開発。それが種々のがんに対して実行可能となった世界初の病院「UMSオンコロジークリニック」のセンター長を務める。 (『明るいがん治療3—「明るいがん講座」30話』)	『明るいがん治療—一切らずにピンポイント照射』(三省堂、2003) 『明るいがん治療2—身体に優しいピンポイント照射』(三省堂、2009) 『明るいがん治療3—「明るいがん講座」30話』(三省堂、2009) 『抗がん剤治療のうそ』(ワニ・プラス、2012) 『世界初からだに優しい高精度がん治療』(方丈社、2020)	『明るいがん治療3—「明るいがん講座」30話』(三省堂、2009、奥付) 「UMSオンコロジークリニック」 http://www.ums-oc.com/ (2022.8.10確認)	2022/9/30	甲府
ウォルター ウェストン Walter Weston	男	1861 1940	イギリス	イギリス	『山梨百科事典』	哲学・宗教 芸術・スポーツ	牧師・登山家。 日本における近代登山の父と言われる。 1888年から1915年まで3回にわたり来日、15年間滞在した。南アルプスの山々を登山。 1904年、鳳凰三山の地蔵岳岩塔を初登攀。 日本アルプスを南、北に区分して命名。 (『山梨百科事典』)	『日本アルプス・登山と探検』(梓書房、1933) 『極東の遊歩場』(山と溪谷社、1970) 『ウェストンの明治見聞記』(新人物往来社、1987) 『ウェストンの北岳』(日本山書の会、1988) 『日本アルプス再訪』(平凡社、1996) ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p92) 『知られざるW・ウェストン』(田畑真一、2001) 『ウェストンと歩く日本アルプス』(上田剛、2015) 『はじめの日本アルプス』(山村基毅、2008) 『ウォルター・ウェストンと上條嘉門次』(求龍堂、2018)ほか	2018/11/28	楡形 韮崎
ウシダ タカヨシ 牛田 喬修	男	1900 1961	武川村	北杜市	『武川村誌下巻』	芸術・スポーツ	教員(小中学校)。1957年退職。 「卓上静物」の作品が第8回春陽会に入賞(1930年) 「峡北美術協会」創立(1948年) (『武川村誌下巻』)	『赤蓼牛田喬修画集』(吉沢真・中山嘉明・林立平編集、依田印刷社、1977)	『武川村誌下巻』(武川村、1986、p541~542) 『赤蓼牛田喬修画集』(p50) 『文協むかわ創立20周年記念誌』(武川村文化協会、1992、p99)	2012/7/30	むかわ

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ウシヤマ トシオ 牛山 俊男	男	1961 	長野県	長野県	『天体写真の教科書』	芸術・スポーツ	自然写真家・環境カウンセラー。 1999年から自然写真家として活動を開始。星空風景を中心としたネイチャーフォトによる講演会や映像ライブなどを開催。 八ヶ岳、南アルプス、奥秩父、富士山周辺がおもな撮影フィールド。 (『天体写真の教科書』)	『デジタルカメラによる星空の撮り方』(誠文堂新光社、2012) 『写真でつづる四季の星空』(誠文堂新光社、2014) 『天体写真の教科書』(誠文堂新光社、2017)	『天体写真の教科書』(誠文堂新光社、2017)	2018/11/27	萑崎
ウタタ ミルユキオ 歌田 稔(鞠雄)	男	1854 1902	下田井村	萑崎市	『萑崎市誌』	哲学・宗教 社会科学	諏訪神社の神主、丹後守昌之の嫡男として生まれた。 幼児から水上貞道の門に入り、学問・武芸をきびしく仕込まれた。 1867年「報国岩窪の盟」に加わり、1869年の除隊まで活躍は目ざましい。 のち水戸弘道館に学び、稔と改名。初代円野小学校長、武田八幡宮宮司、円野・清哲・神山三村戸長を歴任。 (『萑崎市誌』)		『萑崎市誌下巻』(萑崎市誌編纂委員会、1979、p426)	2022/11/30	萑崎
ウチダ ヨシヒロ 内田 義広	男	1906 1988	旧岡部村	笛吹市	『山梨興信録』	文学 芸術・スポーツ	『中央山脈』(詩の同人誌)創始者。作詞家として、塩山南小・甲府北西中・浅川中・上野原高校など校歌の作詞をする。 石和町文化協会の初代会長。 (『山梨興信録』)	『花の群落』(日本未来派の会、1976) 『笛吹川の水辺にて』(サンリオ、1980) 『百羽の雁』(日本未来派発行所、1954)	『山梨興信録』(山梨日日新聞社、1979、p152)	2012/8/20	石和
エグチ ヒデオ 江口 英雄	男	1943 	甲府市	甲府市	『上野原町立病院物語』(悠飛社)	自然科学・医学 文学	横浜市立大学医学部卒業 山梨医科大学助手・講師・教授、上野原町立病院院長前上野原市長	『上野原町立病院物語』(悠飛社、2003)	『上野原町立病院物語』(悠飛社)	2021/3/20	上野原

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
エジマ ヒロシ 江島 寛	男	1933 1954	朝鮮全羅 北道郡山	大韓民国 全羅北道郡山	『中富町誌』 「イマジネーション」 「現代思想」	文学	本名星野秀樹。 終戦後、中富町古長谷に引き揚げる。旧制身延中学校在学時「峡南文芸」に創作や詩、「美知思波」に短歌を発表。 1949年上京後、下丸子文化集団に参加、「詩集・下丸子」「石つぶて」を発行したが、1954年8月、21歳で病没する。 翌年『江島寛詩集』が出版された。 (『中富町誌』「イマジネーション」)	『鋼鉄の火花は散らないか』(井之川巨編・社会評論社、1975) 『江島寛詩集』(江島寛詩集刊行委員会、1955) 『コレクション戦争と文学 I 朝鮮戦争』(浅田次郎他編、集英社、2012) 随筆「断片」詩「バンク」「エアブレン星座」創作「太極旗」(『峡南文芸第3号』山梨県立身延中学校文芸部、1947、p12、19、32、41) 「不幸な象徴(マチネ・ポエティック)に就て」(『峡南文芸第4号』身延第一高等学校文芸部、1948、p13)	『中富町誌』(中富町誌編集委員会、1971、p1033) 『身延わが青春』(身延高等学校、1982、p211、p218) 『下丸子文化集団とその時代』(道場親信著、みすず書房、2016) 『イマジネーション』2号(山梨文芸協会、2004.6、p156～) 『現代思想』臨時増刊号(青土社、2007.12、p38、162、230、312) 「山梨日日新聞」(1975.5.3、6面“江島寛遺稿集を出版”、2015.8.631面)	2022/11/30	身延
エハラ ナイト 江原 騎士	男	1993 □	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 「山梨日日新聞」	芸術・スポーツ	新田小から富竹中、山梨学院高、山梨学院大を経て、自衛隊体育学校。 2016年2月、400メートル自由形で短水路日本新記録を樹立。 2016年8月、リオデジャネイロ五輪では、第2泳者を務めた4×200メートルリレーで、同種目で52年ぶりとなる銅メダルを獲得。 2016年10月、県イメージアップ大賞。 市長特別賞。甲府大使。 2017年7月野口賞スポーツ部門受賞 2017年9月、2018年9月、2019年9月山梨県体育功労者特別選手受賞 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) (「山梨日日新聞」)	『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p535) 「山梨日日新聞」(2016.10.19、21面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2016.10.28、24面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2017.7.1、56面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.1.1、45面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.2.16、15面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.3.26、27面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.12.5、14面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.2.7、18面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.4.6、19面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.4.7、17、27面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.6.4、14面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.7.24、26面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2022.3.1、17面顔写真あり) 甲府市HP(甲府大使プロフィール)のプロフィール詳細あり(2022.5.1更新顔写真あり)(2022.9.9確認) 江原騎士Twitter https://twitter.com/71knight10 (2022.9.9確認)	2022/9/30	甲府	
エミヤ タユキ 江宮 隆之	男	1948 	増穂町	富士川町	『江宮隆之の文学世界』	文学	小説家。 本名：中村高志 1989年「経清記」が第13回歴史文学賞受賞。 1994年『白磁の人』が第8回中村星湖文学賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『経清記』(新人物往来社、1993) 『白磁の人』(河出書房新社、1994) 『風のささやき』(河出書房新社、2004) 『山本勘助とは何者か』(祥伝社、2006) 『二人の銀河鉄道嘉内と賢治』(河出書房新社、2008) 『満州ラブソディ』(河出書房新社、2018) ほか	『江宮隆之の文学世界』(甲府市立図書館編甲府市教育委員会、2007、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p323,396)	2023/2/23	県立

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オクホ マツヨ 大久保 松代	女	1898 1996	境川村	笛吹市	『東八メモリーズこんなひとがいた。』	自然科学・医学	医師 日本初の耳鼻咽喉科女医 (『東八メモリーズ』)		『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p77~86) 『大久保松代の野割り人生』(井上こみち著、PHP研究所、1993) 『山梨の20世紀』(山梨日日新聞社、2000、p25)	2022/11/5	石和
オサワ トシコ 大澤 俊彦	男	1951 	山梨県	山梨県	『道楽の歴史学』	歴史・地理	甲斐市在住。電気管理技術者。全国歴史研究会会員。 山梨県郷土研究会会員。	『道楽の歴史学』 (全国歴史研究会、2022)	『道楽の歴史学』(奥付)	2022/11/30	敷島
オシマ マサタケ 大島 正健	男	1859 1938	神奈川県	神奈川県	『山梨百科事典』	社会科学	甲府中学(現甲府一高)6代校長。 文学博士の学位授与。 (『山梨百科事典』) 札幌農学校(現在の北海道大学)の第一期卒業生で、クラーク先生の教えを受けた。 (『甲一物語』)	『クラーク先生とその弟子たち』(新地書房、1991)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p139) 『郷土史にかがやく人々集合編1』(青少年のための山梨県民会議、1974、p87~104) 『甲一物語』(山梨時事新聞社、1965、p71~74)	2022/9/30	甲府
オタクロ カツヒコ 太田黒 克彦	男	1895 1968	熊本県	熊本県	『日本児童文学大事典』	文学	随筆家、児童文学作家。 30歳より文筆活動に入り、自然を求め下利根水郷や八ヶ岳にも居を移す。 (『日本児童文学大事典』) 疎開をきっかけに韮崎市に移住。 (「ふれあい」vol.57)	『川魚ものがたり』(竹村書房、1941) 『小ぶなものがたり』(講談社、1947) 『マスの大旅行』(講談社、1956) 『山ばとクル』(講談社、1962) ほか	『日本児童文学大事典第一巻』(大阪国際児童文学館、大日本図書、1993、p139) 「ふれあい」vol.57(山梨県広聴広報課、2018、p23)	2018/11/27	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オトモ タケシ 大友 剛	男	1977 	東京都	東京都	「山梨日日新聞」	社会科学	ミュージシャン、マジシャン。2010年、株式会社Music&Magicを設立。2011春、NHK教育「すくすく子育て」にマジシャンとして準レギュラー出演。(大友剛Otomo Takeshi Official website) 南アルプス市在住。	『鈴木翼&大友剛の0・1・2歳児ちよこっと手あそび大集合!』(ひかりのくに、2015)『さわってごらん!よるの星』(大友剛訳、ひさかたチャイルド、2016)『ふしぎなふしぎなまほうの木』(大友剛訳、ひさかたチャイルド、2014)『ねこのピートだいすきなしろいくつ』(大友剛訳、ひさかたチャイルド、2013)『えがないえほん』(大友剛訳、早川書房、2017)『ねこのピートクリスマスをとどけよう』(大友剛訳、ひさかたチャイルド、2018)ほか	「山梨日日新聞」(2015.11.15、12面、顔写真あり)「山梨日日新聞」(2016.3.22、16面、10.6、19面)イベント参加記事「山梨日日新聞」(2017.12.9、14面、)「山梨日日新聞」(2018.9.23、21面)	2023/3/9	わかかき
オムラ カズエ 大村 主計	男	1904 1980	諏訪村	山梨市	『山梨の作家1』 『山梨百科事典』	文学	童謡詩人 1929年童謡『花かげ』発表(作詞) 1946年東京タイムズ社設立 (『山梨の作家1』) スポーツタイムズ社長 (『山梨百科事典』)	『麦笛』(児童芸術社、1932) ほか	『山梨の作家1』(山梨ふるさと文庫、1994、p143~) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p150) ほか	2012/8/21	塩山
オムラ サシ 大村 智	男	1935 	神山村	韮崎市	『山梨県人物人材情報リスト2021』	自然科学・医学 芸術・スポーツ	薬学者。 理学博士、薬学博士。 北里研究所顧問、北里大学特別荣誉教授・名誉教授。山梨総合理工学研究機構総長。米国科学アカデミー会員、日本学士院会員、フランス科学アカデミー会員。 東京都立墨田工業高校教諭、山梨大学助手を経て、1965年北里研究所へ。 抗生物質や微生物の研究に取り組み、オンコセルカ症(河川盲目症)の代表的な予防・治療薬である寄生虫駆除薬イベルメクチンなどを開発した。 1985年、米国微生物学会ヘキストルセル賞を日本で初めて受賞したのをはじめ、国内外の賞を多数受賞。 2007年、郷里の韮崎市にコレクションを展示する韮崎大村美術館を開館した。 2012年文化功労者、2015年文化勲章受章。 2015年、ノーベル生理学・医学賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 2012年、韮崎市民荣誉賞受賞。 (「韮崎市ホームページ」)	『微生物とその応用』(共立出版1979) 『微生物薬品化学』(南江堂1986) 『抗生物質研究の最先端』(東京化学同人1987) 『私の芝白金三光町』(北里研究所2000) 『ロードデンドロンの咲く街』(教育広報社1995) 『夕暮れ』(北里研究所2005) 『植林』(北里生命科学研究所2011) 『自然が答えを持っている』(潮出版社2016) 『人間の匂』(毎日新聞出版2016) 『ストックホルムへの廻り道』(日本経済新聞出版社、2017) 『イベルメクチン』(河出書房新社2021)ほか	『21世紀山梨の100人』(毎日新聞社甲府支局山梨新報社2002p180) 『大村智』(馬場錬成著、中央公論社2012) 『大村智物語』(馬場錬成著、中央公論新社2015) 『大村智ものがたり』(馬場錬成著、毎日新聞出版2015) 『山梨県人物人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ2020p254)ほか	2022/11/30	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オオモリ ケイジロウ 大森 慶次郎	男	1871 1962	南八代村	笛吹市	『山梨百科事典』	産業 社会科学	大森銀行創始者 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2004』) 貴族院議員 東西アジア史の権威 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p151) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2004)	2012/8/20	石和
オオモリ ヨシノリ 大森 義憲	男	1907 1982	忍野村	忍野村	『山梨百科事典』『忍野村史増補版第1巻』	社会科学	民俗学者、文人、忍野郵便局長 (『山梨百科事典』)山梨郷土研究会 会員・勲八等瑞宝章・従軍記章授与 (『忍野村史増補版第1巻』)	『甲州年中行事』(山梨民俗の会、1952) 『山村のおこなひ』(赤堤社、1991) 『日本の民族19』(第一法規、1977) 『大森資料1・2』(成城大学民俗学研究所、1978) 『日本の民俗』(第一法規出版、1974)『南中部の民間信仰』(明玄書房、1973) 『大森義憲遺歌集』(短歌新聞社、1983)	『広報忍野』147号(忍野村、1993.5、p8) 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄、ぎょうせい、1986、p342) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p287) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p152)『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021、p1144)	2022/7/31	おしの
オオモリ マサオ 大森 正男	男	1907 1994	忍野村	忍野村	『大森正男追想録』 『忍野村史増補版第1巻』	社会科学 産業	経営者(『大森正男追想録』) 忍野村名誉村民第2号(『忍野村史増補版第1巻』)		『大森正男追想録』(大森正男翁追想録編集委員会、1995)『広報忍野』138号(忍野村、1992、p3)『忍野物語』(忍野村役場、2001、p122)『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021、p1124)	2022/7/31	おしの
オカ ケイスケ 岡 啓介	男	1986 	塩山市	甲州市	山梨日日新聞 2014.8.4 2版1面	芸術・スポーツ	漫画家小学館週刊少年サンデーにて『銀白のパラディン-聖騎士-』連載(山梨日日新聞2014.8.4版1面)	少年サンデーコミックス『銀白のパラディン-聖騎士-』全五巻(小学館、2014-2015)	山梨日日新聞2014.08.041面	2016/11/30	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オガサワラ カンザン 小笠原 環山	男	1925 2000	楡形町	南アルプス市	『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	書家・水墨画家 (『書画同源による水墨画描法集成』)	『小笠原環山書画集』(秀作社出版、1990) 『書画同源による水墨画描法集成』(秀作社出版、1992) 『環山書と画』(1995) 『秘境武陵源』(秀作社出版、1997)	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p396)	2020/10/28	楡形
オガタ キヨシ 岡田 清	男	1960 	韮崎市	韮崎市	『親子で楽しむスキー、スノーボード』	社会科学	山梨県内の公立小学校に三十数年勤務。専門は国語課教育。『親子で楽しむスキー、スノーボード』	『山梨の被曝アオギリ二世』(岡田清、2005)『親子で楽しむスキー、スノーボード』(教育同人社、2016)	『親子で楽しむスキー、スノーボード』(岡田清、教育同人社、2016)	2018/11/27	韮崎
オガタ コウヨウ 岡田 紅陽	男	1895 1972	新潟県	新潟県	『山梨百科事典』 『忍野村史増補版第1巻』	芸術・スポーツ	写真家 (『山梨百科事典』、『現代日本朝日人物事典』生存者叙勲・勲三等瑞宝章受章・従五位(『忍野村史増補版第1巻』))	『富士山』(社会思想研究会出版部、1961)『富士こそわがいのち』(忍野村役場、1997)『富士百影作品集第1～10輯』(審美書院、1932)『岡田紅陽・田淵行男の世界』(田淵行男記念館、1997)	『富士こそわがいのち』 『広報忍野』160～163号(忍野村、1994.6～9特集) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p155) 『現代日本朝日人物事典』(朝日新聞社、1990、p361)『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021、p1186)	2022/7/31	おしの
オカバヤシ ハルオ 岡林 春雄	男	1952 	高知県	高知県	『山梨県人物・人材情報リスト2015』	文学 自然科学 医学	神戸市教育委員会心身障害児教育委託、藤戸病院心理相談員、山梨大学講師、助教授を経て、山梨大学教育人間科学部教授となる。 (『山梨県人物・人材情報リスト2015』) 2017年3月山梨大学を退職 2017年4月徳島文理心理学科教授 (『徳島文理大学HP』 https://www.bunri-u.ac.jp/)	『米国教育事情』(『山梨日日新聞』1996.2.12、15面、2.14、11面、2.15、13面) 『現代社会と人間認知的社会臨床心理学』(北樹出版、1997) 『心理教育』(金子書房、1997) 『介護・看護の臨床に生かす知っておきたい心のしくみ』(金子書房、2010) 『最新知覚・認知心理学』(金子書房、2019) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2015』 (日外アソシエーツ、2014、p183) 『山梨日日新聞』(1998.3.1、7面、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2017.1.27、15面、顔写真あり)	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オカワ ソウタ 小川 壮太	男	1977 	塩山市	甲州市	『トレイルランニング』	芸術・スポーツ	トレイルランナー 山岳スキーヤー (『トレイルランニング』)	『トレイルランニング』(山と溪谷社、2016)	『トレイルランニング』(山と溪谷社、2016) 『甲州市市勢要覧2015(甲州市)山梨日日新聞 2009.1.1611面 2007.4.2316面 2007.3.3125面	2016/11/30	塩山
オカワ マサコ 小川 正子	女	1902 1943	春日居村	笛吹市	『春日居町誌』 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』	自然科学・医学 文学	医師(ハンセン病患者救済活動)。東京女子医専卒業後、東京市立大久保病院で細菌学、内科を、東京貧育会で小児科を修め、1932年国立癩療養所・長島愛生園に赴任した。患者治療のかたわら、当時世間から隠されていたハンセン病患者を療養所へ収容すべく活動。その体験記『小島の春』はベストセラーとなり、1940年に映画化され、評判となった。 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2021』)	『小島の春』(長崎出版、1992) 『夕富士の』(春日居町、1986)	『春日居町誌』(春日居町、1988、p1354~1361) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p156) 『甲州人物風土記』(雨宮要七著、昭和書院、1973、p236~244) 『小川正子の生涯』(神田甲陽著、春日居町教育委員会、2000) 『小川正子と小島の春』(清水威著、長崎出版、1986) 『日本女性人名辞典』(日本図書センター、1998、p230) 『女の一生8』(瀬戸内晴美ほか著、講談社、1981、p139~174) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p458~459)	2022/11/10	春日居
オキノ シンカイ 荻野 慎諧	男	1978 	若草町	南アルプス市	『古生物学者、妖怪を掘る』	社会科学	鹿児島大学大学院理工学研究科終了、理学博士(地質・古生物学)。各地の大学、研究所の研究者を経て、株式会社ActoWを設立。現在は兵庫県丹波市で自然を生かした地域づくりを行う。 (『古生物学者、妖怪を掘る』)	『荒俣宏妖怪探偵団ニッポン見聞録東北編』(学研プラス、2017) 『古生物学者、妖怪を掘る』(NHK出版2018) 『怪異古生物学』(技術評論社、2018)	『山梨日日新聞』(2015.7.24、14面、顔写真あり、2017.12.22、11面、2018.11.24、10面、顔写真あり、2020.7.17、11面、顔写真あり)	2020/10/28	わかくさ
オクヤマ マサミチ 奥山 正典	男	1916 	山梨市	山梨市	『続・わたしの文学散歩』 『小さい自分史』	文学	元教員。 短歌誌「美知思波」運営委員会委員長、山人会、山梨文化協会会員。 (『続・わたしの文学散歩』『小さい自分史』)	『峠路』(美知思波発行所、1956) 『わたしの文学散歩』(美知思波発行所、1972) 『甲州の文学碑』(美知思波発行所、1985) 『甲州の文学碑続』(美知思波発行所、1994) 『わたしの文学散歩続』(美知思波発行所、1995) 『小さい自分史』(2006) ほか		2009/1/22	山梨

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オサノ ジュン 小佐野 淳	男	1959 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2004』	芸術・スポーツ	武術家、古武道指南所水月塾塾長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』)	『富士北麓幕末偉人伝』(山梨日日新聞社、1995) 『富士北麓の草相撲と力士たち』(『富士北麓の草相撲と力士たち』刊行委員会、2000) 『図説武術事典』(新紀元社、2003)	『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p85)	2014/11/25	富士吉田
オサノ ツネオ 小佐野 常夫	男	1940 	船津村	富士河口湖町	『五感観光奮闘記』	社会科学	1981年から河口湖町議を2期、以後旧河口湖町長を4期、富士河口湖町長を1期歴任。在職中は国交省の観光カリスマに選定されるなど町全体を観光の町として確立した。 (『広報富士河口湖』)	『五感観光奮闘記』(山梨ふるさと文庫、2002)	『山梨日日新聞』(2002.9.5、19面、2003.7.17、9面、12.1、16面、12.3、23面、12.8、16面) 『広報富士河口湖』(2008年12月号) 『21世紀-山梨の100人』(山梨新報社、2002、p208)	2012/8/16	富士河口湖
オザワ コウミン 小澤 幸民	男	1850 1934	秋田村	北杜市	『秋田村誌』 『山梨百科事典』	文学 歴史・地理	「生読新聞」「峡中新報」編集長。自由民権運動に参加。俳人、俳号「如意庵眠石」。 (『山梨百科事典』)	『秋田村誌』(秋田村、1955、p203～205) 『長坂町誌(下)』(長坂町、1990、p678～679) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p161)	2013/1/30	ながさか	
オザワ センペイ 小沢 善兵衛	男	1840 1904	綿塚	甲州市	『ぶどうの国文化館』	産業	葡萄酒醸造家。明治初期のぶどう園育成に貢献、育種商として外国種の導入に力をいれた。慶応3年(明治元年とも)アメリカに渡り、ワイン原料としての栽培、醸造方法を学ぶ。 (『古書が伝えた甲州葡萄の歴史』)	『葡萄培養法摘要』(小沢善兵衛、1877) 『葡萄培養法』上・下(小沢善兵衛、1879) 『葡萄培養法続編』(小沢善兵衛、1880)	『ぶどうの国文化館』(上野晴朗1995、p48) 『ぶどう酒物語』(山梨日日新聞社、1978、p74) 『古書が伝えた甲州葡萄の歴史』(勝沼図書館、2007) 『日本醸造協会雑誌63巻10号』『日本のポートワイン』(宮崎光太郎・1968) https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/63/10/63_10_1013/_pdf/-char/ja (2023.2.21)	2023/2/21	勝沼
オザワ ヤマ 小沢 やま	男	1951 	韮崎市	韮崎市	『ゆうぐれ』	芸術・スポーツ	高校卒業後、漫画家永島慎二に師事して上京、アシスタントを経験。地元で3回の作品展を開催、2019年生家のアトリエを改築し「小沢やままんが館」を開設(『ゆうぐれ』)	『ゆうぐれ』(文芸社、2020) 『ふたりのけしき』(文芸社、2021)	『ゆうぐれ』(文芸社、2020) 韮崎ジャーナル第39号2面	2022/11/30	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オタキリ ケンメイ 小田切 謙明	男	1846 1893	西青沼村	甲府市	『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々集合編1』 『山梨「人物」博物館』	社会科学	1872年、山梨郡第一区副戸長。 (『山梨「人物」博物館』) 1876年、貸付会社補融社設立。 1877年、「観風新聞」創刊。 1881年、山梨県会議員、山梨県初の自由党员。 (『山梨百科事典』)		『郷土史にかがやく人々集合編1』 (青少年のための山梨県民会議、1974、p355～369) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p114～115) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p165)	2022/9/30	甲府
オツジ ノコ 尾辻 紀子	女	1935 	塩山市	甲州市	『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』	文学	作家。 甲府第一高校卒業。 日本ペンクラブ、日本文藝家協会、日本児童文学者協会会員。 1989年、第20回埼玉文芸賞準賞受賞。 (『山梨日日新聞』)	『キャブラからこんにちは』(教育出版センター、1988) 『近代看護への道大関和の生涯』(新人物往来社、1996) 『雲水街道をわたる』(講談社出版サービスセンター、2001) 『幕末外国奉行田辺太一』(新人物往来社、2006) 『ガンガーまで』(銀の鈴社、2008)	『山梨日日新聞』(2008.4.20、4面、顔写真あり) 『幕末外国奉行田辺太一』(奥付) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p308)	2022/9/30	甲府
オトグロ ハクドウ 乙黒 麦童	男	1925 	玉穂町	中央市	『鍛始』 『玉穂町誌』	文学	1948年雲母入会、俳人「白露」同人。 (『鍛始』)	『句集鍛始』(有泉堂、1985) 『玉穂』(卯辰山文庫、1998) 『春の雪』(サンニチ印刷、2009)	『玉穂町誌』(玉穂町、1997、p1299～1300、p1304)	2022/8/18	玉穂
オニマル トモヒコ 鬼丸 智彦 カウ マサヒコ (加藤 雅彦 から改名)	男	1947 	若草町	南アルプス市	『海山越えて』 『山梨の人と文化6』	文学	1971年山梨県入庁、山梨県立文学館副館長を最後に退職。 郷土を題材とした執筆活動を行う。 『桑の村』で第9回やまなし文学賞受賞、『富士川』で第7回坊ちゃん文学賞受賞。 (『山梨の人と文化6』)	『幻の「重慶日報」』(山梨ふるさと文庫、1995) 『鳴弦物語』(山梨ふるさと文庫、1998) 『城将』(山梨日日新聞社、2005) 『桑の村』(山梨日日新聞社、2005) 『富士川』(山梨日日新聞社、2006) 『京都時習堂』(アーカイブス出版、2008) 『猿楽を舞う如く』(ブイツーソリューション、2009) 『三橋会所』(雑誌「imagination8号」61～114) 『大地鳴動』(「imagination9号」p73～124) 『甲斐源氏姫物語』(鬼丸智彦、2014) 『甲州坂本竜馬室』(銀河書籍、2015) 『散りにし花は』(銀河書籍、2017)	『海山越えて』(山梨日日新聞社、1997、奥付) 『山梨の人と文化6』(山梨ふるさと文庫、2008、p29、p31顔写真あり)	2018/11/28	わかさ

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オノ イシミ 小野 泉	男	1830 1884	浅尾新田 村	北杜市	『山梨百科事典』	社会科学 歴史・地理 自然科学 ・医学	蘭方医者。小野通仙の子。 種痘館を建て牛種痘法を村人に行ったり、北巨摩郡医会改善に尽力。明治維新後、県立病院の設立を主唱。1872年、山梨県庁学務課に奉職。「甲斐国志」を校訂出版。「山梨県地史略」「甲斐地史略」などの校訂編集。国内最初の婦人新聞「をとめ新聞」を発行。1879年、甲府に私塾「三同社」を開設。浅尾新田に記念碑あり。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p170) 『郷土史にかがやくひとびと集合編2』(青少年のための山梨県民会議、1980、p.82) 『小野通仙(1804-1888)の弟と息子たち』(浅川伯教・巧兄弟資料館、2017)	2018/11/16	明野
オノ キンロク 小野 金六	男	1852 1923	河原部村	韮崎市	『韮崎市誌』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』	産業	自宅に桑園を開き、蚕室を設け、製紙工業を興し、韮崎市の後年の製糸業の草分となった。 北巨摩において小武川電力を創立。 最も力を入れたのは鉄道事業であって、両毛鉄道会社の設立、台湾縦貫鉄道計画、朝鮮の京釜鉄道、小倉鉄道などに関係し、東京市街鉄道株式会社の創立も行った。 1912年、富士身延鉄道会社を創立し自ら社長となった。 1925年、韮崎小学校講堂寄附。 (『韮崎市誌』) 1880年、第十国立銀行東京支配人、1893年東京割引銀行を創設、頭取となった。 また静岡県富士市に富士製紙を創立。 甲州財閥の一人として重きをなした。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)		『韮崎市誌下巻』(『韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p426) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、p104)	2018/11/27	韮崎
オノ ツウセン 小野 通仙	男	1804 (または 1802) 1888	浅尾新田 村	北杜市	『山梨百科事典』 『小野通仙(1804-1888)の弟と息子たち』	自然科学 ・医学	蘭方医。 1854年、長男・小野泉とともに大豆生田村(現須玉町)に「種痘館」を建設。 (『小野通仙(1804-1888)の弟と息子たち』) 県立病院開設直後、医師団の1人として尽力。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p171) 『郷土史にかがやくひとびと集合編2』(青少年のための山梨県民会議、1980、p.79-82) 『小野通仙(1804-1888)の弟と息子たち』(浅川伯教・巧兄弟資料館、2017)	2018/11/16	明野

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オノ テツ 小野 徹	男	1875 1971	鏡中条村	南アルプス市	『若草町誌』 『山梨百科事典』	自然科学 ・医学	医師。 日本住血吸虫病(地方病)の撲滅事業。保健衛生。 山梨県医師会会長を勤める。第3回山日生活文化賞受賞。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p132) 『父・祖父を語る』(小野修著、小野修発、1970、山梨県立図書館蔵) 『若草町誌』(若草町誌編纂委員会、若草町、1990、p601~602) 『地方病とのたたかい』(地方病撲滅協会、1977、p122、顔写真あり)	2012/8/21	わかかき
オノ ヤスオ 小野 泰央	男	1965 	韮崎市	韮崎市	『創造するための文章』	文学	文学博士。 日本漢文学、日本表現史専攻。 近年は現代における表現のあり方にも取り組む。 (『創造するための文章』)	『平安朝天暦期の文壇』(風間書房、2008) 『中世漢文学の形象』(勉誠出版、2011) 『創造するための文章』(真珠書院、2013)	『創造するための文章』(小野泰央、真珠書院、2013、奥付)	2018/11/27	韮崎
オノ ヨウサブロウ 小野 要三郎	男	1854 1941	西野村	南アルプス市	『山梨百科事典』	産業	果実栽培の先駆者、 西野村ほか2カ村組合議員。 (『山梨百科事典』) (『白根町誌』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p172) 『白根町誌』(白根町誌編纂委員会、白根町、1969、p587~591) 『南アルプス市ふるさと歴史めぐり第1集』(南アルプス市郷土研究部、2008、p22) 『愛と信念の人郷土に尽くした小野要三郎』(樋川美奈子、2017)	2018/11/28	白根
オヒ コウセツ 小尾 香雪	女	1877 1957	宮川村	長野県	『清春村誌』	芸術・スポーツ	本名:にほ 明治生まれの女性南画家(『長坂町誌』)		『清春村誌』(井出藤太郎、1964、p362~364) 『長坂町誌(下)』(長坂長、1990、p698)	2014/11/14	ながさか

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オビ カウ 小尾 嘉郎	男	1898 1972	高根町	北杜市	『建築家・小尾嘉郎の経歴と建築活動に関する研究』	技術	1921年名古屋高等工業学校建築科 卒東京市電気局工務課入社 1926年自身の神奈川県庁舎建築設計 図案が選ばれる。神奈川県庁勤務。 (建築技手) 1929年小尾建築公房開設 1931年軍人開館設計競技佳作入選 1972年享年76歳 戦後、小尾嘉郎の設計で残っている 建築は1953年に完成した甲府市舞鶴 城公園内にある「恩賜林記念館」のみ。		『建築家・小尾嘉郎の経歴と建築活動に関する研究』 (佐藤嘉明2005)	2018/11/19	たかね
オビ ジュウゾウ 小尾 十三	男	1909 1979	稲穂村	北杜市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『甲府市史研究第9号』	文学	小説家。 教職など多くの職種を歴任し、1944 年、『登攀』で第19回芥川賞を受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』)	『新世界』(学研、1965) 『雑巾先生』(満州文藝春秋社、康徳 12年刊) 『ひとりっ子の父』(第三文明社、1981)	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p309) 『山梨日日新聞』(2021.1.19、17面、 顔写真あり) 『甲府市史研究第9号』(甲府市編さん 委員会、1991、p29～43)	2022/9/30	甲府
オビ ホシウ 小尾 保彰	男	1877 1949	清春村	北杜市	『清春村誌』	文学 社会科学	歌人。 県会議員。 佐佐木信綱主宰「心の花」に投稿、 交流。 (『長坂町誌』)	『天目山』(観光社、1935)	『清春村誌』(井出藤太郎、1964、 p360～362) 『長坂町誌』(長坂町、1990、p672～ 674、p1037、p1039)	2013/1/30	ながさか
オマタ ナガトシ 小俣 長利	男	1938 	上野原町	上野原市	『山梨東部姓氏温故録』	歴史・地理	東京消防庁勤務 会社役員 (『山梨東部姓氏温故録』)	『山梨東部姓氏温故録』(1986) 『東寺学頭頼賢と小俣氏の研究』 (1997)	『山梨東部姓氏温故録』(小俣長利、 1986、奥付)	2009/1/28	上野原

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
オマタ ヒコタロウ 小俣 彦太郎	男	1920 2007	八丈島	東京都	『山梨県人物・人材情報リスト 2013』	歴史・地理	登山ガイド。1936年強力となる。 1974年より吉田口案内人組合長。 1994年73歳の時にカーター元米国 大統領夫妻のガイドを担当し、同年 引退。引退までの富士山への登頂 は800回以上にのぼる。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2013』、『21世紀-山梨の100人』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p564) 『21世紀-山梨の100人』(毎日新聞 社甲府支局編、山梨新報社、2002、 p40~41) 『富士の強力-小俣彦太郎伝-』(寺 林峻著、東京新聞出版局、1998)	2014/11/25	富士吉田
オマタ マサコ 小俣 雅子	女	1952 	都留市	都留市	『気分のいい日を「ことば」が つくる』	文学	文化放送アナウンサーを経てフリー に。ラジオ番組出演のかたわら執筆 活動、話し方講座の講師等をつとめ る。2008年春より東京学芸大学客 員教授。 (『気分のいい日を「ことば」がつく る』)	『下心いっぱいのおムレツ』(講談 社、1991) 『言葉ひとつで女があがる』(日東書 院、1994) 『ことばで美人になる話し方聞き方 講座:大人のマナー』(青春出版社、 2005) 『おまたまさこの満腹物語』(講談 社、2006) 『気分のいい日を「ことば」がつくる』 (東京書籍、2008) 『たった1分で愛される人の話し方8 0のスイッチ』(集英社、2011) 『話題のつぼみ』(山梨日日新聞社、 2021)	『話題のつぼみ』(著者紹介)	2022/11/3	都留